平成27年度 富山国際大学 学務部自己点検評価報告書

- Ⅰ. 概要(現状と課題)
 - 1. 教務系部門(教務課、情報センター、図書館)
 - 2. 学生支援部門(学生課、キャリア支援センター、国際交流センター)
 - 3. 基本情報
- Ⅱ. 委員会・部会(評価・課題)
 - 1. 学務委員会
 - (1) 学務委員会
 - (2) 教養教育部会
 - (3) FD 推進部会
 - (4) 教職課程委員会
 - 2. 図書館委員会
 - 3. 情報センター運営委員会
 - 4. キャリア支援センター運営会議
 - 5. 国際交流センター運営会議

平成28年3月 富山国際大学 学務部

I. 概要(現状と課題)

学務部各部門における平成27年度実施内容については、平成26年度から始まった3か年計画のアクションプランで設定した達成目標を含め、実施した内容について取りまとめた。

1. 教務系部門(教務課、情報センター、図書館)

すでに設定している**3つのポリシー**(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)に関して、大学が目指す学修目標と授業への展開に結びつくようになりつつある。しかし、文部科学省の方針により、より入学選抜から大学の卒業まで具体的な内容と連携を保つための分かりやす3つのポリシーとして一部変更の検討が必要となっている。授業手法であるアクティブ・ラーニングを取り入れた教育内容の実践や授業評価の可視化などは教職協働により確立しつつあるが更なる検証が必要であろう。

なお、授業方法の改善については、全学的な教員による**FD研修**を今年度も実施し共通理解が図られるようになってきた。GPA の導入についても検討を行い、次年度より成績表などへの記載、学生個人の総合評価値を明確に表示する予定である。

情報分野では、学部間で設備使用に差はあるが、ネットワーク環境など学生の学修環境を改善するよう検討を行っている。また、学生証のICカードの導入により、図書館利用、出席管理などに活用して時間の短縮が可能となった。さらに、ICカードを活用したプリントシステムを稼働させ、学生の印刷サービスの向上を図った。なお、更なる利活用への検討が必要である。

また、図書館の利用状況は、現代社会学部では事前事後の学習や資格取得のための自習の場として、前年に比べ伸びている。子ども育成学部では、短大と共有していることもあり、前年度に引き続き利用の利便性を検討して行く必要がある。なお、27年度はメーカーサポート終了による図書館システムのリプレースの課題があったが、短大図書館と連携し、9月にシステム移行を無事完了した。

以下は、主な自己点検評価項目である。

(1) 教務課業務

① 教育課程並びに履修に関すること

【実施計画・内容】

教学部門の根幹業務に関わる、学則・カリキュラム整備、学生便覧・講義要綱の作成、履修登録と出欠管理 について、学生サービスへのサービス低下につながらないよう、学生に常にわかりやすくバックアップできる よう改善しながら業務遂行していく。

【評価・課題】

平成27年度は、特に社会のニーズを的確に捉え、また地(知)の拠点大学としての役割を果たすべく、ニーズ等に合致させ、さらなる基礎的・汎用的能力の向上と教育内容の充実を図るために、各学部における教育目標、卒業認定・学位授与に関する方針、教育課程編成・実施の方針を踏まえ、科目の新設・改廃を行った。

- (1) 現代社会学部では、次の主な改正内容に基づき変更した。
 - ① 現代社会の諸相に関して理解を深め、共存・共生の在り方を考えるなど、変動する今日の社会状況に対応することができるような科目(心理学の基礎、日本国憲法、教養特別講座)を新設したこと。
 - ② 海外留学促進や語学教育の充実をはかるために、現科目に加えさらに語学に関する科目(フランス語、TOEIC)を新設したこと。
 - ③ 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」における役割を担うために、現科目をさらに充実させつ つ、地元の課題並びに企業等を深く理解することや、課題を解決するための科目(経営者講座、地域課 題探求講座)を増設したこと。
 - ④ 教養科目の区分趣旨に合致するよう、区分内での科目移動(哲学の基礎、統計の基礎)や科目廃止(プレゼンテーション)を行ったこと。
 - ⑤ 教養と専門の橋渡しとなる学部共通にかかる専門科目区分内において、科目内容の見直し、充実を図ることに伴い、配当年次や科目名称変更等の改廃(配当年次変更:地域文化論。廃止: NPO・NGO 論、アジアとの交流と地域振興、国際法。新設:国際関係論。)を行ったこと。
 - ⑥ 専門科目の各専攻科目に関しては、開講時期の変更や従前の科目内容を発展させて、より教育効果の向上を図るため、科目名称変更等(バイオマスと環境、eマネジメント論、管理会計、情報メディア論、情報技術論)を行ったこと。
- (2) 子ども育成学部では、次の主な改正内容に基づき変更した。

- ① 平成26年度文部科学省教職課程認定大学等実地視察報告書に基づき、科目の名称変更(教育実習指導、教育実習、生徒指導・進路指導論)を行ったこと。
- ② 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」における役割を担い、地域の課題を探求するために、既存科目(富山の福祉特別講義)の配当年次を拡大し、さらに課題解決に向けた実践的な学びができるインターンシップ(富山に学ぶインターンシップ)の拡充を行って、より教育効果の向上を目指したこと。
- ③ 子ども・子育て支援新制度等への対応を強化するため、子ども育成に関わる基礎理論科目の充実を図るための科目(教育制度論)を新設したこと。
- ④ 今後、小学校での英語教育が強化されることを見据えた対応科目(小学校英語指導法)を新設したこと。

なお、3月の役員会の承認を得て、3月末に文科省へ届け出た。

② その他教務関係に関すること

【実施計画・内容】

① 大学コンソーシアム富山(単位互換)について

富山県大学連携協議会を発展解消され、平成25年度より大学コンソーシアム富山が創設された。その下部組織である教育連携部会において、教務課として「単位互換」にかかる事業を展開する。

- ② 公益財団法人富山県ひとづくり財団助成金について
 - 毎年、富山県外郭団体の標題財団が、県内の高等教育機関の教育研究活性化推進をすべく、一定の事業に 助成支援をしており、その申請・実績報告業務を実施していく。
- ③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について 毎年、富山第一銀行奨学財団より本学の研究に一部助成し、地域貢献を図っていることから、その申請・ 実績報告業務を実施していく。
- ④ COC 事業に伴う業務について
 - 本学が COC+事業の「地(知)の拠点大学」に認定され、「地域課題探求型学習を核としたとやま地域創生人材育成プログラム」に基づく地域志向科目選定等を実施し、事業推進を円滑に進める。
- ⑤ 科学研究費補助金の業務について
 - 本学の教員の科学研究費補助金の申請業務において、後方支援していく。

【評価・課題】

平成27年度は次のような評価と課題であった。

① 大学コンソーシアム富山(単位互換) について

実施計画に基づき、初めて開講した大学コンソーシアム富山単位互換科目「とやま地域学」に、県内学生、一般聴講生を含めた受講人数は、57名であった。

富山県に関する様々な情報を、資料やデータなどから、日本や国際社会と比較し、富山の強み、問題点などの特色を知ること、そして21世紀の富山活性化策について考える4日間を計画どおり実施できた。 なお、アンケートではグループワークなどを増やして欲しいなどの要望があった。

また、他の単位互換科目では、富山大学から子ども育成学部の授業に1名受講実績があった。

② 公益財団法人富山県ひとづくり財団助成金について

平成27年度は次のような実績となった。

【受給状況】

- ・2 号助成:シンポジウムの開講に対する助成 国際交流センター1 件 子ども育成学部1件
- ・3 号助成:公開講座の開講に対する助成 現代社会学部1件
- ・4 号助成:著名研究者等による学術講演会の開催に対する助成 子ども育成学部1件
- ・5 号助成ア: 若手研究者が行う研究 現代社会学部1件
- ・7 号助成ア:学生確保推進支援事業 大学全体2件
- 7 号助成イ:大学活性化支援事業 大学全体2件
- ③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について 平成27年度は次のような実績となった。

【受給状況】

<現代社会学部3件>

- ・ 高橋光幸教授 「北陸新幹線開業に伴う富山県観光の変化に関する研究」
- ・上坂博亨教授 「八尾町桐谷地区における地域資源ポテンシャルの推計とエネルギー自立の可能性調査」
- ・ 高橋哲郎教授 「実践型人材育成教育に関する研究~学外学修プログラムの開発~」

<子ども育成学部4件>

- ・福島美枝子教授 「富山における小学校英語の現状とこれから〜録画授業の分析を通して〜」
- ・村上満教授 「保育ソーシャルワーク教育課程設置に向けたカリキュラムおよび教材開発に関する研究」
- ・水上義行教授 「新しい時代に向けた教員養成の在り方~大学の役割と責任~」
- ・室林孝嗣准教授 「相談支援従事者育成のためのグループスーパービジョンの研究」

<地域交流センター1件>

・大西一成教授 「地域社会の活性化に向けた知の拠点としての大学の実践的研究」

④ COC 事業に伴う業務について

平成 27 年 11 月から事業を正式に稼働させ、富山地域の企業等が学生に求める「5 つの能力」(問題分析力・課題解決力・コミュニケーション力・協働力・遂行力)を伸ばすための体系化された「とやま地域創生人材育成プログラム」の実施準備を行い、それらの能力の達成度を指標化するための「能力特性評価システム」の開発に関与した。

このプログラムでは、教育カリキュラムと学生の自主的活動を含めて「課題解決学習」「地元学学習」「情報技術向上学習」「社会人基礎力学習」の4部門で構成し、学年進行に伴って実践的に課題解決をする力を養っていく学習スタイルを提供するため、特に「地元志向科目」を選定し、次年度から提供できるようにした。また卒業研究では、地域課題を探求し解決する実践型テーマを掲げ、徐々に増やして取り組んでいくことも確認した。

なお、この事業は、富山県内の高等教育機関が参加・協力して実施し、県内大学の学生に協働演習やインターンシップなどの学びを提供し、地方自治体や企業団体等と連携して、地元就職率の向上と地元定着性の高い人材の輩出を目指すことも目的としているため、今後の事業実施体制について課題がある。

⑤ 科学研究費補助金について

平成27年度は新規・継続含め次のような実績となった。

なお、前年度に比して申請件数及び採択件数も減少していることから、教員に対し積極的な申請ができるように促していかなければならない。

<現代社会学部4件>

- ・浦山隆一客員教授 「琉球の近世計画村落形式に伝統的祭祀施設と村抱護が果たした役割と意味に関する研究」
- ・上坂博亨教授 「高耐塵性・低環境負荷な低回転ボルテックス水車の動作分析と設計指針の開発」
- ・佐藤綾子准教授 「地方議会の意思決定に有用な財務報告に関する研究」
- ・ 高橋ゆかり講師 「子どもの室内空気汚染物質への曝露評価および健康リスク低減に向けての提案」

<子ども育成学部5件>

- ・吉田昌弘准教授 「教育」概念によって統合された法制度の形成過程についての歴史的研究
- ・相山馨准教授 「介護者のケアマネジメントにおけるアセスメントツールの開発」
- ・村上満教授 「保育ソーシャルワーカー導入に向けた養成支援システム構築に関する実証研究」
- ・石倉卓子准教授 「認定こども園における遊びの質を保障する園庭環境評価基準(幼児版)の試案作成」
- ・大平泰子講師 「青年期の双極性障害における自傷行為の機序に関する研究」

(2) 情報センター

前述の概要に記載した他に、特に業務運営上で突発的に起こった事項では、平成28年3月初旬に呉羽キャンパスにおいて電気設備点検に伴い停電作業を行った後、復旧させたところ、E館の無線LANアクセスポイントが稼働しなくなった事態が起きた。最終的な原因は不明だったが、機器経年の経過もあったことも想定されるため、今後の中長期的対応も検討しなければならない。

(3) 図書館

27年度はメーカーサポート終了による図書館システムのリプレースを実施し、短大図書館と連携しながら検討を重ね、9月にシステム移行を無事完了し、後は事務上の点検作業のみである。

東黒牧キャンパスと呉羽キャンパスの入館者数や貸し出し冊数の増加のための工夫や、推薦図書の周知方法の工夫として、図書館利用について教員との連携や、オリエンテーションなどでの告知などで、昨年に引き続き図書館の利用促進を図った。

また時流に沿った新しい図書館を目指しての改革検討も実施し、28 年度にむけた新たなラーニングコモンズ新設および AV コーナーのリニューアル化について具体化した。本件の実施には外部予算の確保が条件となっているが、予算確保できれば大きな改革の一歩となる。

なお、図書館利用状況の基本的データは別途掲載した。

2. 学生支援部門(学生課、キャリア支援センター、国際交流センター)

2つのキャンパスが離れ、環境の違いから、学部により学生要望の内容に差がある。本年度取り組んだ内容として東黒牧キャンパスにおいては、自然環境との共生の場にふさわしい緑化・花づくりなど心地よい環境づくりに加え、昨年に続き、学長裁量経費(学務部申請)の採択を受け、冬場の賑わい創出の一環として今年度も学友会と学務部関係教職員とが協働でクリスマス・イルミネーション、クリスマスツリーの設置を行い、行事の定着化が図られつつある。さらに、食堂のメニュー改善や文房具、お菓子販売などのミニ売店設置など学生にとって不可欠な生活環境の整備に取り組んだ。

呉羽キャンパスにおいては、自学自習できる設備環境を整え、クラブ・サークル活動にも昨年度より一層 充実した活動ができるよう継続的に資金面で配慮した。

経済的な支援を要する学生への奨学金支援、諸活動入学生への文武両道精神の醸成として GPA (2.0 程度) の厳守と厳格な指導に心掛けた。さらに、富山国際大学らしいあり方として留学生との交流(チューター制度導入)、学生に提案型事業である「夢への架け橋事業」などはやや応募者が低調であることから、教職員と学生のより協働体制の推進が必要である。

豊かな学生生活を送るための支援活動として、学友会などの活動に教職員が積極的に支援し、大学行事であるスポーツ文化交流会、大学祭などにも学生と教職員との連携によって行った。

現代社会学部・子ども育成学部とも車での通学学生が多い本学では、「学生の駐車指導」をはじめ、事故を 未然に防ぐための「交通安全指導」について警察の協力を得て教職協働で注意喚起を図っている。特に、東黒 牧キャンパスでは、平成27年度も学生と職員で交通安全キャンペーン活動を5年間、毎月1回継続して実施 しており、東黒牧近辺で起きた痛ましい事故の記憶を風化させない活動として今後も継続する予定である。

国際交流に関する支援では、現代社会学部の留学生へのケアや全学学生の留学をサポートしている。27年度は子ども育成学部学生の参加申し込みも多数あった。残念ながら、フランスの異文化研修においてはテロ事件の影響で中止となってしまった。

キャリア支援に関しては現代社会学部、子ども育成学部ともに就職率100%を達成した。また有力企業への 採用の占める割合も金融関係、上場企業の占める割合が上がった。一方、子ども育成学部でも、専門職である 小学校教諭、保育・幼稚園教諭の採用が前年度を維持し、社会福祉士の合格率も健闘し、全国でも上位の合格 率となっている。

以下は、主な自己点検評価項目である。

(1)学生課

(1) 奨学金に関すること

富山国際大学奨学金、独立行政法人日本学生支援機構奨学金、富山第一銀行奨学財団奨学金、各県市町村関係の奨学金等の取り扱いをし、各奨学金の申請、継続、返還、異動の手続きや学習成績の報告を行う。

【実施計画】

経済的に困難な状況にある学生の修学継続を支援するため、本学独自の各種奨学金制度がある。日本学生 支援機構奨学金、地方公共団体・財団等の奨学金についても、学生および保護者からの相談に応じ、適切な助 言、受給に向けた対応にあたっている。本学独自の奨学金としては、経済的理由により学費等の納付が困難で ある者、成績優秀者、諸活動で成果を収めた者、海外留学者(半期)、外国人留学生を対象にした制度がある。 奨励金として、学業成績または諸活動において前年度に著しく優秀な成果を収め、他の在学生の模範であると 認められた 2 年次以上の学生に給付する制度である。

【実施内容】富山国際大学奨学金

奨学	種類	免除額	H27 予定人数	H27 実績人数
(第1種)		980,000	1	
在校生		490,000	2	
	経済的理由	465,500		
		325,000		3
		275,000		2
	小	計	3	5
(第2種)	特別奨学生	850,000	4	4
受験生	選抜試験	575,000	4	10

		550,000		1
		·		1
		275,000		
	小	計	8	15
(第2種)	特別選抜	550,000	5	3
在校生	試験特待生	275,000	16	11
	小	計	21	14
(第2種)	諸活動	850,000	2	1
受験生	特待生	575,000	1	1
		425,000	2	2
		300,000	5	5
		275,000	3	3
		150,000	5	5
	小	計	18	17
(第2種)	諸活動	550,000	2	2
在校生	特待生	275,000	26	19
		183,000	2	2
	小	計	30	23
(奨励金)	成績優秀者	100,000	12	12
	諸活動優秀者	100,000	6	0
	小	計	18	12
	合	計	98	86

日本学生支援機構等奨学金等

十丁工人及风	111 4 2 4 3 2 4					
	受学財団名等	人数		備	考	
日本学生支	爰機構	245	第1種	101人	第2種	144人
富山第一銀	行	3				
富山県		4				
各市町村		0				
交通遺児育	英会	0				
あしなが育	英会	0				
	富山県	6				
留学生日本学生支援機構		1]		
	朝日国際	5		5	5	

【評価と今後の課題】

昨年に引き続き、経済的に授業料が支払えない理由で相談が増加している状況であり、大学の奨学金については、一人でも多くと考え、予算内で定められている一人あたりの奨学金の額を減額して、対処している状況である。オリエンテーションで、学生に対して他の機関の奨学制度を情報提供して、大学生活ができるよう努力をしている。保護者との話し合いが少ないように感じられるので、保護者にも情報提供し、学生本人と相談しやすい環境を作っていく。

(2) イベント関係に関すること

大学祭、スポーツ文化交流会、富山県私学祭、卒業記念パーティー等を運営する学生の補助をする。 大学祭

【実施計画】

現代社会学部 平成 27 年 10 月 24 日 (土) ~25 日 (日) 東黒牧キャンパス 子ども育成学部 平成 27 年 10 月 16 日 (土) ~17 日 (日) 呉羽キャンパス ※ポスターは両学部で共通のポスターを作る

【評価と今後の課題】

現代社会学部については、昨年より例年より2週間遅らせて開催した。準備及び学内でのPRも順調に進み、運動部関係の大会が終了しており、運動系の学生参加者が増えた。子ども育成学部につきましては、富山短期大学と開催日が同時であり、中心的なステージを共同で使用また委員との話し合いにより詳細な事を決定している状況であり、大学として自由に出来ない部分もある。

スポーツ文化交流会

【実施計画】

- 1. 目 的 スポーツ及び文化系競技等を通して、富山国際大学両キャンパスの学生(留学生を含む)及び教職員相互の親睦を図る。
- 2. 期 日 平成26年6月5日(木)
- 3. 会場 富山国際大学東黒牧キャンパス
- 4. 参加者 現代社会学部 1・2 年(全員参加:教養演習出席振替)3~4 年(自主参加) 子ども育成学部 1・2 年(全員参加) 3~4 年(自主参加)不参加の 3 年の学生はボランティア活動等 職藝学院 全学生 (自主参加)参加者要事前申請 スポーツ系のみエントリー可

スポーツ系の各競技にチーム数の制限を設ける

参加者 現代社会学部

1・2年(全員参加:教養演習出席振替)

3·4年(自主参加)

教員

子ども育成学部

1 · 2年 (全員参加)

3・4年(自主参加)不参加の3年の学生はボランティア活動等

教員

職藝学院

全学生(自主参加)参加者事前申請必要スポーツ系のみエントリー可 スポーツ系の各競技にチーム数の制限を設ける

【評価と今後の課題】

学生中心に計画を立て実施し、両学部の交流親睦を図るのが目的だが、両学部の打合せの時間が短すぎる事により学生同士の親睦がそんなに図られていないのが現状である。準備中及び開催当日に学生同士が話し合える工夫が必要であると考えられる。準備段階で、学生だけで創意工夫をさせ、教職員が見届けるような体制にして、学生が自立して実施することにより、親睦が図られる。また、委員選出を早める工夫が求められる。

私学祭について

富山県私学祭

【実施計画】

私学の美術展

日時 平成27年11月21日(土)~23日(月)10時~17時(最終日は16時まで)

場所 富山県高岡文化ホール

内容 私立幼稚園の園児、私立中学高校の生徒、私立大学・短期大学・専修・各種学校の学生による絵画、書等の芸術作品展示

【評価と今後の課題】

大学は文系であり、サークル及び個人的に活動している学生の作品であり、専門的な指導の下で作品を作成していない中、作品を提出している状況である。

卒業記念パーティー

【実施計画】

平成27年度 第22回 富山国際大学卒業記念パーティー計画概要について

日時 平成27年3月18日(金) 受付 15:30~16:00

宴会 16:00~18:00

会場 ホテルグランテラス富山

主催 富山国際大学後援会 後援 富山国際大学同窓会

出席案内先 平成27年度卒業生(174名)〔内訳:現代社会学部94名 子ども育成学部80名〕

後援会 会長含む役員、同窓会 会長含む役員(36名)

理事長、学長 学部長、教職員等(75名)

非常勤講師、クラブ指導者(70名)

案内先合計 355名

出席率 57.5% 参加者合計 約204名

司会・進行 現代社会学部学友会・子ども育成学部学友会

会費 卒業生・教職員 一人 3,000円

【実施内容】

卒業記念パーティー出席者数

	合計(人)	現代社会学部(人)	子ども育成学部(人)
学生	153	86	67
理事長・学長	1		
教員	34		
非常勤講師・クラブ指導者	2		
後援会・同窓会	4		
職員	10		
合計	208 留学生の保護者 4 含む		

【評価と今後の課題】

昨年度より、学生の出席率が高くなり、年々出席率が良くなり盛大に実施することができた。計画・司会・ 進行した学生と学生課教職員でパーティー終了後、反省を実施し例年になくお互いの意見が多数出て活発な反 省会となった。その中で、成功例・失敗例と個々に思っていることがあり、これを、次回の担当者に引き継い で行くことにより、年々良くなっていく。

(3) クラブ関係に関すること

クラブ・サークルの運営管理、クラブ・サークルの後援会予算管理等を行う。クラブ会総会開催の補助をする。

【実施計画】

平成27年度 クラブ会総会

日時 平成28年3月4日(金)10:00 場所 東黒牧キャンパス 4号館441講義室

- 1. 平成28年度 クラブ会 会長等の選出について
- 2. クラブ活動について・学生団体継続願い等について
 - ・施設(大学会館・体育館等)の利用について・クラブへの補助について・各種届出について(遠征届・バス利用申請等)
- 3. 平成28年度 クラブ紹介について
- 4. 平成28年度 スポーツ文化交流会について
- 5. スポーツ安全保険について
- 6. その他

【実施内容】

平成27年クラブ一覧

	東黒牧キャンパス	呉羽キャンパス
体育系	硬式テニス部(休部)	自転車サークル
系	硬式野球部	女子軟式野球部 (短大と合同)
	サッカー部	体操競技サークル
部 & サ	女子ハンドボール部	ダンスサークル
ĺĺ	男子バスケットボール部	テニスサークル
ー ク ル	ボート部	バスケットボールサークル
	ES (enjoy sports)	バドミントンサークル
	卓球サークル	バレーボールサークル
	スキーサークル	
	バドミントンサークル	ビーチボールサークル
	ビーチボールサークル	フットサルサークル

文化系 軽音楽部

茶道部

吹奏楽部 部

&サーク

ĺV

ボランティア部

環境サークル

芸術サークル

国際交流サークル

中国サークル(休部)

日経講読会

B研 (ビジネス資格研究会)

ラベンダーサークル

釣りサークル

放送サークル(休部)

吹奏楽部

アカペラサークル

SSW 研究会(スクールソーシャルワーク研究会)

演劇サークル

音楽サークル

JAZZ サークル

ダーツサークル

TUINS English Club

天文同好会

TIES (富山国際大学小学校教育研究会)

Harness (ボランティアサークル)

保育サークル~にこにこ~

Photo サークル

美術サークル

へそ(東日本大震災復興支援サークル)

【評価と今後の課題】

ボート部女子ダブルススカル競技において、全日本選手権で2連覇を達成した。今後他のクラブ活動におい て刺激しあい、相乗効果により各クラブ活動において成績向上に繋がっていけばと良いと感じている。また、 サークルの学生確保が難しく、掛け持ちをして積極的に活動している学生もいるが、部・サークルに一人でも 多く所属して、活気ある学生生活を送る様に、学友会・クラブ会が中心になって努力していく。

(4) 同窓会に関すること 同窓会報の発行業務。

【実施計画】

同窓会報は、年に1回発行。

2016年3月18日(卒業式当日配布の場合)

発行部数 3,000部

【評価と今後の課題】

同窓会の行事が少ないため、記事内容にあまり変化がない。今後、同窓会と検討していく。 また、同窓会員が企画して作成するのが望ましい。

(5) 大学コンソーシアム富山に関すること 大学等リーダー研修会に関する業務。

【実施計画】

実施日時 平成27年6月6日(土)~6月7日(日)

実施場所 国立立山青少年自然の家

参加対象大学コンソーシアム富山 構成機関の学生会等所属学生◆参加状況参加者44名教員16名 富山国際大学 教職員1人 学生 7人

県内高等教育機関において、学生会やサークル等のリーダーとして 活動する大学生等を対象に、リーダーシ ップ力・コミュニケーション力・企画力を高めるための研修を行い、リーダーとしての資質向上を図る。

また、各所属機関の枠を越えた研修により、参加学生間の交流・連携を深め、ひいては相互の主体的な活動に よる大学間等の連携の推進を目指す。

【評価と今後の課題】

他大学学生と交流が図れ、学生同士の刺激を受け、今後とも実施して欲しい事。また、大学に帰って個々に リーダーとして役割を果たすことに期待する。

(6) 夢への架け橋助成事業に関すること

夢への架け橋助成事業の募集告知、申請事業のヒアリング、学内審査会、助成金の交付、事業終了後の報告 書管理を行う。

【実施計画】

募集期間 : 平成27年4月2日(木)~5月13日(水)【必着】

1 目的

この助成事業は、本学の学生の活力を生かすとともに、地域との連携を更に深め地域に貢献することにより、本学の活性化に資することを目的に、本学の学生から研究・活動等の事業計画を募集し、その事業の実施に対し本学が助成・支援を行う。

2 助成対象事業

本学に在学する個人又はグループで積極的に研究・活動等を行うものとし、以下に掲げる事業とします。

- (1) 地域問題、国際問題に関する調査・研究事業 (6) 地域活性化の調査・研究又は事業の実施
- (2) ベンチャー企業の創設に関する調査・研究事業 (7) 国際的文化交流に関する活動
- (3) NPO活動事業

(8) 各種創作活動

(4) イベント計画・実施事業

- (9) その他本学の活性化に繋がると認められたもの
- (5) ボランティア活動の計画・実施事業

【実施内容】

平成27年度 夢への架け橋助成事業

	事業(申請受付順)	特記事項等	審査結果
	(5)ボランティア活動の計画・実施事業	活動メンバーは将来、教育関係に就く	
	限界集落支援活動	ことをめざす学生であり、本事業が地	
		域活性化に寄与すると共に、地域に	1420
1	【概要】限界集落の活性化をめざし、その過程で自分たちがやらなければならない地域貢献を考	根ざした教育の推進の一環として評	採
	え、自らの生き方を考える契機とする。上畠地区の伝統的な生活文化をはぐくんできた生きるた	価できる。	択
	めの知恵を人々とのふれあいの中から学び取る。へき地校である利賀小学校の児童の学習活	5年目の節目となるため、活動内容を	
	動支援を試みて、へき地校の子どもたちの学びを通して将来の教職への道筋としていきたい。	記録に残すようにしてほしい。	
	(5)ボランティア活動の計画・実施事業	プロジェクト内容は5年間に亘る長期	
	(7)国際的文化交流に関する活動	のもので、今春に第1回目を成功さ	
	国際貢献活動:ムラブリ寄り添いタイ	せ、これからの活動に対し、今後も大	
		いに期待をしたい。事前学習として、	
	【概要】国際交流サークル活動の一環で、タイの少数民族「ムラブリ」へ五年計画で支援してお	タイ語・タイ文化・ムラブリについて事	採
2	り、今年の春に第一回目となる活動を、夢架けからの協力もあり成功させることができた。今年	前勉強していることに活動の意気込	択
	の八月も春に続いてムラブリ支援に向かいたいと考えている。春にムラブリで活動して分かった	みを感じる。しかし、事業が長期間の	
	ことは、ムラブリが貧困である理由の一つが「お金を稼ぐ方法」に対する捉え方が少し違うという	ため、資金面や継続性に対し不安も	
	事である。ムラブリ支援として彼らの文化・考えを他の人々にもっと発信し、その価値を観光・商	あるが、毎年下級生にプロジェクト内	
	品として売り、貧困を改善しようと思う。	容を伝え、継続してもらいたい。	

【評価と今後の課題】

募集件数が2件と少ないのと、継続事業が2件であり、オリエンテーション及びゼミ担当教員へりPR強化をする。また、報告書の取りまとめについて締切日を守らないので、早急に提出するように管理する。

(7) 広報関係に関すること

年2回のコスモス通りの発行業務(内容案作成、原稿依頼、原稿収集、校正)を行う。 北陸中日新聞「キャンパスから」への掲載原稿の管理(教員・学生と新聞社との仲介)

【実施計画】

72号 入学式(平成27年4月4日金)に新入生の保護者に配布2・3・4年生の保護者へは、後援会総会案内状に同封する

73号 平成27年9月中旬 保護者へは前期成績表の発送時に同封する

【評価と今後の課題】

年2回発行となり、記事内容については年間を通してより内容を検討して実施した。今年度の記事内容を踏まえて、検討していく。マンネリ化をしない様にしていく。

平成27年度中日新聞掲載記事

【実施計画】

年間 26 回掲載計画

現代社会学部・子ども育成学部 各13回と掲載する

【評価と今後の課題】

平成25年度から開始し、平成27年度9月をもって掲載中止となった。

(8) 学生定期健康診断に関すること

【実施目標】

学校保健安全法に基づき、学生の健康保持増進を図るため、毎年全学生を対象に定期健康診断を行う。 各自の健康状態を把握し、疾患等の早期発見と適切な治療や指導を行う。

【実施内容】

毎年オリエンテーション日に合わせて、3日間実施している。

健診項目は身体計測(身長・体重・視力)、血圧、尿検査、胸部Xp撮影、内科診察。

※心電図検査:1年生全員と前年度心電図検査で有所見とされた在学生が対象。

※抗体検査(血液検査): 子ども育成学部1年生が対象。

【評価と今後の課題】

健康診断受診率は98.7%有所見者は延べ195名。

有所見者に対しては校医診察、健康相談、保健指導を行い、必要に応じて医療機関受診とした。中国人留学生新入生3人については、入国後直ちに胸部直接撮影を実施した。結果は全員異常なしであった。(平成25年4月に結核と診断された学生3人の管理検診は継続中、特に異常なく経過している。)

(9) 教職員定期健康診断に関すること

【実施目標】

教職員の健康の保持と増進、疾病の早期発見、予防などを目的として、毎年定期的に健康診断を行う。

【実施内容】

毎年9月学生の夏季休業中に本学内に於いて実施している。また当日受診できない教職員については健診機関にて受診できるよう数日予備日を設けている。

健診項目は身体計測(身長・体重・視力・聴力)、血圧、尿検査、胸部Xp撮影、内科診察、血液検査、胃透視、 大腸検査、婦人科検診、PSA 検査を実施した。

【評価と今後の課題】

東黒牧・呉羽両 C ともに 9/18 (金) に実施した。健康診断受診率は 95.3%、有所見者は 47 名。有所見率 は昨年同様かなり高い。

有所見者に対しては校医診察、健康相談、保健指導を行い、必要に応じて医療機関受診とした。

(10) 救命講習会に関すること

【実施目標】

AED 設置に伴いその操作を含む救命講習会を、消防署の救命士を講師として行う。

【実施内容】

・呉 羽C:キャンパス内で講習会を開催した。(教育系の学部であることから毎年実施) 8/25 (火) 9:00~12:00 (3H) 31 名参加

【評価と今後の課題】

・ 東黒牧C: 学務部内で実施の有無を諮り、2年に1回の開催にて、作年度開催、今年度は 開催せず、来年度予定。

講習会に参加希望する学生が少ない。高校生時や自動車学校でも AED 操作については講習をうけていることもあるが、時間が長いということも原因のひとつと考えられる。

(11) 相談業務について

【実施目標】

- ・身体面健康の保持と増進のため、学校医が相談に応じる。
- ・精神的健康の保持と増進のため、カウンセラーが相談に応じる。

【実施内容】

<学校医> 月1回来校

<カウンセラー>東黒牧C:毎週金曜日11:00 から16:00 まで

呉羽C: 第1・3 木曜日 12:00 から 16:00 まで 第2・4 木曜日 13:00 から 17:00 まで

【評価と今後の課題】

H27年度の健康管理センター利用者は延べ1088名、うち呉羽Cは305名であった。

主に健診後の有所見者の再検査や健康相談・保健指導である。生活習慣病である肥満は受診者の 15.5% (BMI25.0以上) で昨年より 0.6%増加したが、高血圧では 3.6% (140/90以上) で 1.0%減少がみられた。

カウンセリングを受けた学生は延べ 167 名であり、うち呉羽Cは 48 名であった。内訳は学生生活、家庭、 進路、就職、対人関係など多岐にわたっている。今年度は入学当初より「発達障害」と診断された学生の保護 者から連絡や相談があり、関係教職員に情報共有と対応に努めることが出来た。しかし同じ診断をされていて も学生は個々人違いがあり対応に苦慮することが多くある。発達障害及びそれを疑われる学生については、健 康管理センターや一部の教職員だけでなく、教職員全体がその理解と協力が必要であると思われる。

学校医やカウンセラーが非常勤であるため、常駐している看護師が来室する学生の相談にのることがある。 学生の状況に応じて学校医やカウンセラーに繋いでいくようにしている。

(12) 健康診断証明書の発行に関すること

【実施目標】

就職・実習・奨学金申請等に必要な健康診断証明書を、定期健康診断の結果に基づいて発行する。

【実施内容】

子ども育成学部 4 年生の就職用健康診断証明書は、呉羽 C健康管理センター(短大保健室)から発行している。現代社会学部全学生と、子ども育成学部 1~3 年生及び実習等に必要な健康診断証明書は、東黒牧 C健康管理センターより発行している。

【評価と今後の課題】

平成 27 年度の健康診断証明書の発行件数は 510 件であり、うち子ども育成学部 4 年生就職用は 60 件であった。

(13) その他

上記の大項目に含まれないが、学生課にて対応する業務。

平成27年度学生生活アンケート

【実施内容】

「平成27年度学生生活アンケート」の結果

後学期のオリエンテーション(9月末)に実施した「平成27年度学生生活アンケート」の目次の項目についてアンケート実施を行った。この結果を踏まえて、今後とも、学生の皆さんがより楽しく充実した大学生活を送れるよう、学習環境の改善に努めていきたいと考えている。

【評価と今後の課題】

データ分析をして、今後このデータを利用して学生生活の向上を図るため、毎年実施している。このデータを 基に、改善していく。

学長賞等表彰について

【実施計画】

この一年間、本学の学生として著しく表彰に価する業績のあった者あるいは、文化、スポーツ、諸活動を通じ、特に優れた業績を修めた団体又は個人に対し、富山国際大学学則第38条及び同学生表彰要項に基づき表彰したいので、別紙様式により候補者の推薦をされるよう、関係者にお願いし実施する。

平成28年1月12日 関係各位に推薦依頼

平成28年1月21日 締め切り

平成28年2月4日 全学学務委員会

【実施内容】

下記の学生表彰候補者が提出され、平成28年2月の学務委員会で審議し、2月の両教授会及び運営会議で審議し承認された。

学生表彰候補者一覧表

	No	表彰規程	推薦賞名	個人・団体	所属
	1	第2条1	学長特別賞	個人	ボート部(女子)ダブルスカル
Ī	2	第2条2(1)ア	学長賞	団体	ボート部(男子)
	3	第2条2(1)ア	学長賞	団体	ボート部(女子)
	4	第2条3(1)イ	学長功労賞	個人	ボランティア活動

[※]富山国際大学学生表彰規程細則に基づいて、行った。

【評価と今後の課題】

表彰は、3月の卒業式の場で表彰されるが、4個人団体の推薦が提出され表彰することとなった。毎年表彰される団体が同じであり、他団体の活躍に期待したい。

(2) キャリア支援センター

(1) 庶務業務に関すること

各種調査、卒業生進路状況作成、高校訪問資料作成(3回)、「採用のための大学案内」パンフレット作成、 富山県財団法人ひとづくり財団助成、インターンシップ報告書作成、内定礼状作成・発送、年賀状作成、卒業 生アンケート調査、運営会議・教授会資料作成業務。

【実施計画】

①各種調査

文部科学省・富山県・民間企業等より、大学の就職関係調査依頼に伴い、提出する。

- ②卒業生進路状況作成(800部作成予定)
 - 5月開催予定の後援会理事会に配布するので、その頃までに作成する。
- ③高校訪問資料作成(3回)

出身高校別に、母校に出向いて説明を行える基礎データ作成する。

- ④「採用のための大学案内」パンフレット作成(3,000部作成予定)
 - 11 月開催予定の「企業・事業所・大学講演会」に参加企業に配布するため 11 月までに作成する。
- ⑤富山県財団法人ひとづくり財団助成、

私立大学振興事業で、学生確保推進支援事業4年制の私立大学が優秀な学生を確保するために行う事業の 助成を得る

- ⑥インターンシップ報告書作成(150ページ 500冊作成予定)
 - 11月開催予定の学内インターンシップ報告会までに作成する。
- (7)内定礼状作成

平成27年10月1日以降、内定した企業(確実に内定した企業へ行くことを確認した企業)に対して、随時令状を送付する。

⑧年賀状作成(540枚発送予定)

平成27年度にインターンシップ協力企業・キャリア教育協力企業・「企業・事業所・大学講演会」の講師・参加企業、「学内合同企業説明会」参加企業に年賀状送付する。

⑨運営会議・教授会資料作成業務、

毎月1回開催される運営会議・教授会資料作成業務を実施。

【実施内容】

- (1)各種調查
- ・卒業予定者の就職決定状況【富山県労働雇用課】 毎月、月末の内定状況をメールにて10日前後に報告
- 新規大学等卒業者の求職・就職内定状況【富山公共職業安定所】
- ・学校基本調査(5/1 付調査) 【文部科学省】卒業後の状況調査票(学部毎)
 - 2-1 (状況別卒業者数、入学年度別卒業者数、男女別)2-2 (職業別、産業別、男女別)

- · 学校法人基礎調查(5/1 付調查) 【日本私立学校振興】 (進路別卒業者数、産業別就職者数、男女別)
- ・就職指導に関するアンケート【HR総合調査研究所】
- ・就職担当調査・学事スケジュール調査【㈱ディスコ】
- ・就職情報登録に関するアンケート【㈱ダイヤモンド・ビックアンドリード】
- 就職情報のお届け関するアンケート【㈱ジェイ・ブロード】
- ・就職情報サービス登録取扱いアンケート【㈱アクセスヒューマネクスト】
- ・キャリア、就職支援への取組み調査、外国人留学生人材活用促進事業【㈱マイナビ】
- ・2015年度卒業者の就職状況調査【旺文社】
- ・2016年卒就職情報提供に関するアンケート【㈱文化放送キャリアパートナーズ】
- ・大学生の就職活動解禁日繰り下げに関する調査【大学通信】
- ・就職担当部署各種アンケート【㈱栄美通信】
- ・学部別就職状況調査、就職者数上位50社【大学通信】
- ・学部別卒業後の進路【朝日新聞】
- 学部別就職状況【旺文社】
- ②卒業生進路状況作成

進路決定届の提出データを基に、4月30日付け進路状況を作成し、データを編集(学部別進路状況、職種別就職状況、業種別就職状況、所在地別就職状況、就職先一覧)して作成。

• 配布先

企業(企業・事業所・大学講演会)・入試広報課(高校訪問、高校教員説明会等) 総務課(後援会理事会・総会、学園理事会等)

③高校訪問資料作成(3回)

入試広報課より卒業生就職先データ作成依頼有り、過去2,3年間のデータを出身校別に作成。

④「採用のための大学案内」パンフレット作成

「企業・事業所・大学講演会」(11 月開催)の企業(人事担当者)に渡すため、それまでにパンフレットを納期させる。内容については、次年度の学生 PR 用として作成。

- ・キャリア支援センター長・次長・センター員で内容確認。
- ・業者選択をして見積・スケジュール計画依頼
- 業者決定後、内容の打ち合わせをして骨格作成。
- ・キャリア支援センター運営会議で内容審議
- ・原稿依頼、データ作成・写真選択
- •配布先

企業(企業・事業所・大学講演会及び求人票に同封)

入試広報課(高校訪問、高校教員説明会)

総務課(後援会理事会·総会、役員会)

- ⑤富山県財団法人ひとづくり財団助成、
- ・次年度の要望調書(就職推進事業)作成・提出 ①県の様式に従って書類を作成 ※交付条件有
- ・交付申請書作成・提出

県の様式に従って書類を作成

学長までの伺書を作成し、承認後提出

- ※補助対象経費の支出は、交付決定のあった日以降からの支出になるので注意
- ・事業実績報告書作成・提出 ①申請事業が完了次第作成 ②県の様式に従って書類を作成(請求書添付)
- ・学長までの伺書を作成し、承認後提出
- ・「企業との事務書類手続き」

依頼文の作成

エントリーシートの送付

「インターンシップの覚書」「同意書」「実習報告書」「実習内容報告書」の送付 賠償責任促進手続き ⑤事前挨拶書類の作成(評価表含む)

⑥インターンシップ報告書作成、

キャリア支援センター運営会議で役割分担を決定後インターンシップ参加学生、受入企業よりデータを集

めて、実施報告書を作成(・担当教員に業務依頼・挨拶文・インターンシップの概要・今年度を振り返って)

・上記以外のデータは事務方で作成

学生の文章は誤字脱字が多く確認が必要。

担当ゼミ教員には確認してもらっているが、事務方での修正が必要。

・データ作成・修正及び結合作成

(はじめの挨拶、インターンシップ概要、目次、研修経緯一覧、受入先一覧、研修レポート、学生の成果、 受入先アンケート結果、今年度の総括及び来年度に向けて、日報要約、インターンシップ実施要領)

•配布先

教職員

学生(学内発表会(3年)、インターンシップ受講の仕方)

企業(受入先企業)

総務課(後援会理事会·総会等)

(7)内定礼状作成

平成27年10月1日以降、内定した企業(確実に内定した企業へ行くことを確認した企業)に対して、随時令状を送付。

⑧年賀状作成、

平成27年度にインターンシップ協力企業・キャリア教育協力企業・「企業・事業所・大学講演会」の講師・参加企業、「学内合同企業説明会」参加企業に年賀状送付

⑨運営会議·教授会資料作成業務。

審議事項、報告事項に提出する資料をセンター長、課長に確認し2日前にデータを総務・教務課に提出する。

※内定状況資料は、最新の内定率に変更して提出

【評価と今後の課題】

期日厳守の作業が多く、作業工程及び役割分担の見直しが必要となっている。特に各種調査については、 民間企業における調査が多く、内容は似ているが調査に時間が取られて、大学の業務に障害が起きないよう に、提出企業の見直しを図る。

(2) キャリア教育に関すること

【実施計画】

- ・現代社会学部におけるキャリア・デザイン講座(1年次必修)、キャリア教育(2年次)、インターンシップ (全学年選択)、キャリア支援講座(3年次必修)、就職試験対策講座、インターネットナビウエア(SPI)の 授業運営に関わる業務。
- ・尚、子ども育成学部では、キャリア入門講座(1年次)、キャリア支援講座 I (2年次)、キャリア支援講座 II (3年次)キャリア支援講座 II (4年次)、実習、インターンシップ等を独自に実施している。
- ・キャリア支援センター運営会議にて、1月から3月にかけて協議し決定する。

平成27年度 キャリア支援講座 アンケート集計

【評価と今後の課題】

- ・キャリア支援講座・子ども育成学部キャリア支援については、学生のアンケートを参考に毎年内容を変えて いる。
- ・キャリア・デザイン講座は、担当教員が毎年工夫(2年前から少人数・2クラスに分けて実施)をして内容変更しながら組み立てている。
- 3) データ管理に関すること

【実施計画】

①卒業生就職先、在学生進路状況、企業データの管理。 尚、子ども育成学部でも独自のデータ管理を行っている。

②卒業生就職先

企業に求人票を発送する際に、その企業に卒業生が在籍しているか居ないか確認するために、在籍者調査

を実施(1月実施)

③在学生進路状況

7月にキャリア支援講座の授業時に配布し実施

④企業データの管理

求人票発送及び企業データ修正、求人票に日付印を捺印(通年)

【実施内容】

- ①卒業生データ管理
- ・個々の就職データ管理

企業に求人票を発送する際に、その企業に卒業生が在籍しているか居ないか確認するために、在籍者調査 を実施(1月実施)

- ・企業より回答を得たデータを元に卒業生データの修正・加筆
- ②卒業生アンケートデータも卒業生データに修正・加筆する(12月実施)
- ・企業訪問で得た情報も反映させる
- ③在学生データ管理
- ・進路登録カード
 - i.7月にキャリア支援講座の授業時に配布
 - ii. 夏休み期間中に自己分析と企業研究をさせる
 - iii. 第1回模擬面接時に回収
 - ※留学生で進学、帰国する学生は後期授業開始前までに回収)
 - ※3 年前までは10 分間の個別面談をして、学生の特徴を把握し、要注意学生をリストアップしていた。 現在は模擬面接の様子から学生の特徴を把握する。
 - ※このカードを参考に、学生の情報と希望企業を照らし合わせて、求人票を紹介する。
 - iv. 個人情報記載 (相談内容、気付いた点、証明書発行企業名、3年次までの単位修得数、内定・辞退先企業)

※カードの裏面は、個人情報となっているので取扱注意

- v. 進路登録カードと学生の履歴書、模擬面、接評価表、グループディスカッション、SPI 答案用紙も個々に綴る。
- 内定後の手続き
 - i. 進路内定(決定·辞退) 届
 - ii. 進路が決定後用紙に記載
 - iii. 内定通知書のコピーを撮り一緒に綴る
 - iv. 産業分類、職業分類は本人に確認する
 - v. 今後就活を続行するかの有無をきちんと把握する
 - vi. この用紙を基に内定状況データに入力する
- 就職狀況報告書
 - i. 進路が決定後用紙に記載
 - ii.後輩学生のため、日程・適正検査・筆記試験内容・作文、小論文テーマ、面接内容を詳しく記入してもらう
 - iii. 年度毎にファイルを作成し、次年度学生の参考資料として閲覧する
 - iv. 証明書発行時には、このファイルの先輩情報を提供する
- 進路状況調査依頼
 - i.4年ゼミ担当教員に対して調査を年2回実施
 - ii. 就職先内定データを基にゼミ教員ごとに作成
 - iii. 依頼文作成
 - iv. 依頼文と進路状況調査票を配布
 - v. 調査票回収後に就職先内定状況データに反映させる

											平成28年3	月31日現在
			平成	27年	度 富山	国際大学	就職内定	状況				単位:人
学部	性別	学生数	内休学 者数	卒業 者数	就職希望者	内定者	内定率	未内定者	進学•留学 希望者	内進学·留 学決定者	進学も就職 もしない	卒業延期 者
	男	67	1	63	55	55	100.0%	0	2	2	6	3
現代社会	女	32		32	28	28	100.0%	0	1	1	3	0
	計	99	1	95	83	83	100.0%	0	3	3	9	3
	男	21		21	17	17	100.0%	0	4	4	0	0
子ども育成	女	60	1	59	56	56	100.0%	0	2	2	0	0
	計	81	1	80	73	73	100.0%	0	6	6	0	0
	男	88	1	84	72	72	100.0%	0	6	6	6	3
合 計	女	92	1	91	84	84	100.0%	0	3	3	3	0
	合計	180	2	175	156	156	100.0%	0	9	9	9	3

④企業データ管理

- 求人票受付
 - i. 求人票発送及び企業データ修正
 - ii. 求人票発送先データの作成(学部ごとに作成)
 - iii. 会社名、所在地、統合、倒産等の確認をホームページ等で確認する)
 - iv. 依頼文の作成(学部ごとに作成)
 - v. 求人票用紙の手配(学部ごとに作成)
 - vi. 起案書の作成
 - vii. タックシール、封筒の準備
 - viii. 求人票発送(採用のための大学案内、在職者調査も同封)
 - ix. 郵便が届かなかった企業のデータ修正を行う
 - x. 卒業生データの企業名も修正をかける
- ・求人票に日付印を捺印
 - ※企業人事担当者が、大学に来て求人票を提出された場合は、企業の求めている学生像を聞き出す。
- ・県内求人・県外求人・共通県内求人・共通県外求人 に分けてナンバーリングする
- ・求人票データの入力(ホームページより求人票データが確認でき、地域、業種、職種検索等も可能)
- ・ 求人票一覧の作成
- ・求人一覧表を学部別にホームページにアップする
- 掲示板に求人票の掲示
- ・企業ファイルに求人票を綴る(新規の場合はファイルを作成)
- 会社説明会及び学外ガイダンスのポスター、チラシ等も随時掲示する
 - ※ 求人件数及び求人人数 (3月31日現在の求人件数)

県内求人件数-437件・県内求人人数-1,844人

県外求人件数-444件・県外求人人数-20,180人

【評価と今後の課題】

求人票のデータ管理システムは複雑であり、業務的にロスが多いので、単純化を図る。

また、大学ホームページより、求人票を観覧できるが、見ている学生が少ない。大学に送付(来校)される 求人は大切にして、学生に PR し、情報の早急化を図る。

(4) キャリア支援センター行事に関すること

【実施計画】

①「企業・事業所・大学講演会」の講師関連、発送先リスト作成、案内発送、会場準備、報告書作成等 運営に関する業務。

「企業・事業所・大学講演会」

日 時 : 平成27年11月20日(金)15:30~19:00

場 所 : ホテルグランテラス富山(富山市桜橋通り 2-28 16076-431-2211)

受 付 : 15:20から開始 (3F 緑風の間 入口) 「平成27年度富山国際大学 企業・事業所・大学講演会」次第 1. [大学説明] (3階 清風の間) (16:00~16:20)

開会の辞

開会挨拶・大学及び学部説明 学 長 中島 恭一

就職状況説明 キャリア支援センター長 村瀬直幸

[休 憩]

2. 〔講 演〕 (3階 清風の間) (16:30~17:45)

演 題 「再生可能エネルギーと人材育成」

講師 一般社団法人でんき宇奈月プロジェクト

代表理事 大橋聡司氏

[休 憩]

3. [情報交換会] (4階 瑞雲の間) (18:00~19:00)

開会挨拶兼乾杯 学 長

中島恭一

閉会挨拶キャリア支援センター長

村瀬直幸以上

【実施内容】

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
参加企業数	69	66	58
講演会参加人数	80	76	68
情報交換会参加人数	73	64	60

【評価と今後の課題】

懇親会については、年々参加者が増えてきており今後は、アンケートを分析して、次回の改善に繋げる。

【実施計画】

②「学内合同企業説明会」の発送先リスト作成、案内発送、会場準備、参加学生への教育・指導、アンケート集計等運営に関する業務。

「企業・事業所・大学講演会」

- 1. 目 的:学生が「業界」や「業種」について研究し、企業の採用計画・採用試験日程などを採用担当から直接情報収集することで、以降の就職活動を円滑に行えるようにすることを目的とする。
- 2. 日 時: 平成28年3月2日(水)·7日(金)[2日間]13:20~16:00(企業受付開始 12:30~)
- 3. 会場:富山国際大学 東黒牧キャンパス 厚生棟
- 4. 方 式:ブース形式による説明(1回あたり25分間の説明を5ローテーション実施)
- 5. 対象者: 平成29年3月企業への就職希望者約80名(留学生及び子ども育成学部一部含む)
- 6. 内容: ① 開会挨拶(中島学長)
 - ②各ブースにて事業内容や採用計画についての説明を受ける(30分×5回)
 - ③ 企業と教職員との情報交換(随時)
 - ④ アンケート記入
 - ⑤ 閉会挨拶(村瀬キャリア支援センター長)
- 7. 学生への事前説明会

日 時:平成27年2月3日(水)13:00

場 所: 大講義棟 I

内容:企業研究、事前教育・諸注意、マナー指導等

【実施内容】

・平成28年3月2日(水)(参加者企業 70社、参加学生 81人参加)

※ 1人5社企業訪問をすることを指導

・平成28年3月7日(金)(参加者企業 73社、参加学生 77人参加)

※ 1人5社企業訪問をすることを指導

【評価と今後の課題】

毎年実施している事業で、企業側からのアンケートを参考に少しずつ改善を図っている。例年より企業側と学生とが説明を聞く機会が多くなった。また、1回の持ち時間を30分から25分に変更して、今年は迷いも

なく以前より移動がスムーズに進んだ。事前に訪問する企業を記載させ絞り込ませた状態だったが、企業研究が十分になされていない状況で今後の課題である。

(5) 学生相談に関すること

【実施計画】

- ・カウンセラー・支援委員の来校日の調整及び保護者相談会に関する業務。
- ・学生個々には、求人票・ガイダンス情報の案内、送付状やお礼状の書き方指導等を行い、「進路登録カード」には相談内容や受験先・証明書発行先など就職活動状況を記載する。
- ・尚、子ども育成学部でも独自の学生相談業務を行っている。

【実施内容】

- ・学生の予約(予約表で管理する)
- i. 週に2間(原則水曜日・金曜日の午後)来てもらう学生1人に対して1時間相談。
- ii. 内容についは、進路登録カードデータに記載し個人データとして共有する。最近、心の病の学生が増えてきているので、その様な学生は、相談回数が増える傾向にある。
- iii. 予約の際は、カウンセラーと相談して、なるべく多くの学生が受けられるように配慮し相談受付をする。

【履歴書・エントリーシート・模擬面接指導】

- ・富山県職業安定所から、週1日相談員が来て、企業情報や就職相談に来校
- i.コーディネータとして、元民間企業人事担当者2人来ていただき、相談(企業情報)・指導(履歴書・エントリーシート・模擬面接指導)をする。内容によっては、ゼミ担当、キャリアカウンセラーと情報交換しながら実施する。
- ii. 事務職員は、学生がカウンターに来たら、相談(企業情報)・指導(履歴書・エントリーシート・模擬面接指導)をする。内容によっては、ゼミ担当、キャリアカウンセラーと情報交換しながら実施する。
- iii.3・4年次生の学生を対象に、就職に苦労をする学生の保護者をリストアップして、金曜日、土曜日、日曜日を設定して、保護者相談会を実施。センター長と実施時期を相談して、臨機応変に実施する。(8月)
- iv. 該当保護者に開催通知発送 → 相談時間を調整 → 情報収集(専門学校・求人票等)
- v. 総務課で、相談内容のアンケートを実施し、就職相談要望の保護者と面談する。(6月)
- vi. 学生課で、相談内容のアンケートを実施し、就職相談要望の保護者と面談する。(10月)

【評価と今後の課題】

- ・学生が予約しても、無断で予約日に来ないケース数例あり、学生に連絡をするが、忘れていたとか、急にガイダンスが入った等の理由が返ってくるが、学生に対して社会的マナーに反しているので、厳重に注意をしている。
- ・また、学生の性格を見て、数人の面接指導を受けた方が良いと感じた学生には、その様に指導をしている。

(6) 企業訪問・新規開拓に関すること

【実施計画】

- ・就職先内定お礼訪問、新規開拓企業訪問を行う。
- ・就職状況報告書を参考に、内定した企業にお礼に行く。次年度の採用計画も聞いてくる。
- ・新規開拓・OBOG 内定企業
- 進路登録カードの希望企業を参考に、情報収集に行く。
- ・コーディネータ(民間企業人事経験者)企業開拓。
- ・緊急対応企業(内定辞退等)
 - 基本的には、学生に謝りに行かせる。大学からも謝りに行く。

【実施内容】

- ・2013年度(第5回)平成25年9月24(火)開催のキャリア支援センター運営会議にて、ゼミ別にゼミ担当者が、内定先お礼訪問する事を確認して、教授会で依頼し実施
- ・新規開拓等について
 - i. コーディネータ(民間企業人事経験者)が中心に企業開拓実施
 - ii. 大手企業の支店での新規採用開拓を実施し、内定まで進めた。
 - iii. 学生の希望を聞いて、富山県内の中小企業人事担当者にお願いして、内定まで進めた。

iv. OBOG 内定企業

- ※卒業生で、社会経験のある人材のお願いが4社から依頼あり、2社紹介して内定した。
- ※卒業生が活躍しており、大学を信頼して依頼に来られた。
- ・緊急対応企業(内定辞退等)
 - i. 内々定の承諾書を企業に未提出で、電話で人事担当者にお断りの連絡をしたとのことで、学生と人事担当者の解釈が違い、企業よりクレームの電話があり、社長及び人事担当者にお詫びに行った。
 - ii. ここ数年内定をしている企業で、内々定を頂いて断った事により、人事担当者より電話による内容説明があり、お詫びに行った。ただし、その後、事務関係で早急に人材が必要となり、卒業生が必要との事で紹介し、内定した経緯がある。

※基本的に、内々定を辞退するときは、本人が直接企業に出向きお詫びする事を指導している。

【評価と今後の課題】

今年度は、内定辞退者多数出たので、辞退した企業に対して謝りに行った。また、10月を過ぎて内定を辞退する学生が出てきて、学生は勿論、教職員も早急に人事担当者に謝りに行った事例があり、次年度は、慎重に企業選択する様に指導する。

(7) インターンシップに関すること

【実施内容】

① 受入先候補の決定および受入依頼は、富山県インターンシップ推進協議会の協力のもと、参加学生の希望に基づき、キャリア支援センターで行った。

今年度のインターンシップに参加した学生は、環境デザイン専攻4名、観光専攻10名、経営情報専攻23名の計37名である。マッチングが成立し、学生が研修を行った企業・機関等は、30にのぼる。そのうち6つの企業・機関には、各2名の受入れをしていただいた。

- ② 受入先と参加学生とのマッチングは、学生の希望に基づいて行ったが、希望に沿えなかった学生については、話し合い等により研修先を決定した。その結果、研修先を決定しました。その結果、最終的には学生の希望に応えられる業種・職種の受入先を確保することができました。
- ③ 受入先には、受入条件確認書記載の内容で依頼した。昼食費・通勤費等については、学生の自己負担としている。研修期間中の事故に対応するため、学生負担による「学研災・賠償責任保険」への加入も行っている。
- ④ 事前に、『覚書』(大学と受入先間)を締結し、受入先に対しては学生の『同意書』を提出した。

(8) 研修プログラム

受入先の個別的事情を反映させるべく、研修プログラム(実習内容)の作成は、基本的には受入先に委ねている。ただし、過去に研修内容につき当該学生・大学からの要望提出や協議を望まれた研修先に対しては、可能な限り、その要請に応えるよう努めた。

【評価と今後の課題】

平成26年度より、インターンシップの該当年次を1年次(後期からの参加が望ましい)~4年次となり、研修生が一人でも多く参加し、就業意識を高めて欲しい。また、平成28年度就職試験の時期が6月となり、マッチングし、学生の受入確認と重なることから、インターンシップの受け入れ企業との連絡を密にして、早急に計画を立てて対応していく。

(9) 大学コンソーシアム富山に関すること

富山県内7高等教育機関に所属する学生(主に3学年)を対象とした県内企業の訪問研修を立案・企画の 実施(県事業)。

【実施計画】

①事業概要

高等教育機関に在籍する学生が、合同で県内企業等を訪問し、実際の就業現場を見て、そこで働く方々の 声を聞くことで、県内企業等の魅力を知るとともに就業意識の向上をはかります。また、企業等を訪問するだ けでなく、事前・事後学習を通して自らのキャリアデザインに主体的に取り組むことを目的としています。

	内容	日程	場所
STEP1	コース別ミーテ ィング	9/9(金)13:00~ 17:00	富山大学経済学部[五福キャンパス]
STEP2	職場訪問研修	9/16(金)9:15~ 17:00	富山大学経済学部[五福キャンパス]に集合の後、各コース 別にバスにて職場訪問

◇以下の業種を訪問予定

製造業 / 医薬品製造業 / サービス業 / 銀行業 / マスメディア / 情報・通信業 / 官公庁 / エネルギー / 印刷業

- ◇参加募集は7月中を予定
- 対象者(参加者) 学生 147名(富山国際大学参加者 36名)
- · 実 施 内 容- 企業訪問 9月16日(金)

【評価と今後の課題】

- ・今年度より、ミーティング・訪問研修、2ステップに変更し、学生の負担を軽減した。
- ・訪問研修の企業選定については、選定企業について、昨年度の反省を踏まえて、中小企業も入れて実施した。
- ・対象学年を1年生・2年生も含めて幅広く応募する事が決まったが、富山国際大学は、就職活動を踏まえ3年生対象として参加した。

(3) 国際交流センター

- 1. 海外&国内教育機関との協定
 - (1) 新たに「2+2協定」を締結した大学
 - ・南通大学 H27.8.1 締結
 - (2) 学部協定から全学協定に移行(再締結) した大学
 - ·大邱大学校学術交流協定書(全学版) H28. 3. 23 締結
 - (3) 国内の日本語学校
 - ・丸の内ビジネス専門学校 H27.12.7
- 2. 受入学生数 22名
 - ・学部生 9名(天津社会科学院 3名、富山国際学院1名、大連海洋大学編入学 1名、その他の日本語学校3名、韓国の高校1名)
 - ・交換留学生 13名(大連海洋大学 5名、ハルピン理工大学2名 中国海洋大学 2名、ウラジオストック経済サービス大学 4名)

表1. 留学生数の推り	多									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計※
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
海外日本語学校	16	20	21	18	10	12	11	3	5	195
国内日本語学校	0	0	0	0	1	3	0	5	1	10
2+2	0	0	0	0	3	2	2	1	2	10
正規生合計	16	20	21	18	14	17	13	9	8	215
交換留学生	17	17	14	15	17	15	10	13	7	149
受入留学生総数	33	37	35	33	31	32	23	23	15	364
	※合計は									

- 3. 本学学生の海外派遣数 45名
 - (1) インターナショナルプログラムズ(短期) 5名
 - ・5週間(オーストラリア(現社2名、子ども育成3名)
 - (2) インターナショナルプログラムズ(長期) 4名 (フランス1名、中国1名、韓国1名、ロシア1名)

- (3) 海外インターンシップ (南通) 3週間 2名
- (4) 異文化研修(中国 8月26日~9月2日 8日間) 5名
- (5) 異文化研修(韓国) 9月13日~20日 8日間) 6名
- (6) 異文化研修(タイ)8月22日~9月5日 16日間)8名
- (7) 国際交流実習 (タイ) 2月23日~3月13日22日間 10名
- (8) 環境専門研修 (デンマーク) 2月 5名

表2. 海外派遣学生数の									
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計
長期留学(3ヶ月以上)	2	2	1	4	3	6	1	4	23
短期留学(1ヶ月程度)	2	2	3	2	2	1	2	5	19
留学小計	4	4	4	6	5	7	3	9	42
研修•交流	8	27	20	24	31	32	19 ※	34 ※	195
インターンシップ							2	2	4
派遣合計	12	31	24	30	36	39	24	45	241
※テロ事件発生により異文化研修(フランス)キャンセル									

4. 国際交流に関するイベント

・国際交流フォーラム「グローバル社会における国際貢献・地域貢献について考える」

開催日時:平成27年11月3日(火)13:00~16:10

記念講演「国際貢献・地域貢献について考える~スーダンと東北支援の活動現場から~」

講師:川原尚行医師 認定 NPO 法人/国際 NGO ロシナンテス理事長

参加者:343名(内訳:学生306名、社会人17名、教職員20名)

5. チューター学生

前期 15名(日本人8名、留学生7名) 後期15名(日本人8名、留学生7名)

- 6. 留学生向け就職説明会開催 6月24日(水) 11名参加
- 7. 語学力向上のための SD・FD 研修会開催 8月21日13名参加
- 8. オンライン TOEIC 対策講座 (アルクスマートラーニング) 受講者 30 名 (現社 15 名)
- 9. サマースクール

期間 8月4日 (火) ~8月11日 (火) 参加者 33名 (教員 2名含む) 参加者内訳: 南通大学 学生26名、教員2名、ハルピン理工大学学生5名 交流会参加学生 (TUINS) 本学学生・教職員16名

10. 成果と課題

- (1) **海外協定大学**は2校増え、8か国16校となった。更に増やす努力をしており、中国1大学とカナダ1大学と話し合いを進めている。英語圏の協定校、しかも授業料免除になる大学を増やすべく努力している。現在、アメリカのPSUとは授業料相殺の協定を結ぶべく協議中である。
- (2) 中国からの正規留学生の減少が著しく、2015 年度以降は数名の確保に留まっている(表1)。人数の減少と共に質の低下も著しく、入学時に日常会話も覚束ない学生が目立ち、本学の評価を低下させることが危惧される。一方、編入生(ダブルディグリー)の確保に2年前から取り組んできた成果が、ようやく表れてきた。編入生は基礎学力も日本語レベルも高く、勉強熱心であることから、本学の質の向上に貢献してくれるものと期待している。このことから、今後は1年生の過度の入学促進を改め、編入生の安定的な確保に努力すべきと考えている。今後もダブルディグリー協定校を増やしていきたい。

サマースクールに参加した学生、教員の本学に対する評価が高く、編入生の入学に結びつく可能性を見出した。H28 年度は、サマースクールを海外大学生向けオープンキャンパスと位置づけ、正規授業に参加する機会を設けたい。

(3) 海外派遣学生数は2011年以降、やや増加傾向にあったが、2015年に急激な増加を示した(表 2)。その要因は、現代社会学部の入学者の質の向上と景気回復傾向により、保護者の理解が進んだことが根底にあると思われる。更に、留学奨励金の創設、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金獲得、海外プログラムの充実化など、大学や教員側の努力も大きな要素である。異文化研修(タイ)と国際交流実習に参加した18名のうち、13名が JASSO 奨学金(7万円) 受領者である。従って、今後も、JASSO 奨学金が確保できるよう

に、プログラムの充実に努力しなければならない。

平成27年度学務部事業については、富山国際大学が目指す学生を育成するために、窓口対応、教育支援を実施してきたことから、卒業生アンケートでも満足度が前年度よりやや高くなっている。しかし、スタッフ数の減少、職員の高齢化など、現在の配置では限界に達している。加えて、労働基準監督署から就業時間管理の指導を受けつつ、学生対応と輻輳する大量の事務処理を就業時間内での完結が困難となっており、学生満足度の低下が懸念され、事務業務の省力化ばかりでなく、補助業務者の手当て等も含めた対策が喫緊の課題である。

3. 基本情報

・平成27年度 在籍者数(平成27年5月1日現在)

					男女	別数	県内タ	卜別数		男女県内	内外別数	
_		学部	学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
		現代社会	現代社会	117	83	34	106	11	75	31	8	3
		休学		1	1		1		1			
	1 年生	子ども育成	子ども育成	96	25	71	90	6	24	66	1	5
	. —	休学		1	1		1		1			
		合 計	†	213	108	105	196	17	99	97	9	8
		休学		2	2	0	2	0	2	0	0	0

				男女	別数	県内タ	卜別数		男女県内	内外別数	
	学部	学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
	現代社会	現代社会	109	78	31	86	23	65	21	13	10
	休学	•	2	2		2		2			
2 年生	子ども育成	子ども育成	99	28	71	93	6	26	67	2	4
~	休学		1	1		1		1			
	合 計	+	208	106	102	179	29	91	88	15	14
	休学		3	3	0	3	0	3	0	0	0

				男女	別数	県内タ	卜別数		男女県内	內外別数	
	学部	学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
	現代社会	現代社会	90	59	31	57	33	40	17	19	14
	休学	•	1	1		1		1			
3年生	子ども育成	子ども育成	89	19	70	83	6	15	68	4	2
0 — —	休学	•	0								
	合 計	+	179	78	101	140	39	55	85	23	16
	休学		1	1	0	1	0	1	0	0	0

					男女	別数	県内タ	卜別数		男女県内	内外別数	
		学部	学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
		現代社会	現代社会	99	67	32	79	20	52	27	15	5
		休学		1	1		1		1			
4年	#	子ども育成	子ども育成	81	21	60	73	8	20	53	1	7
	_	休学		1		1	1			1		
		合 計	ŀ	180	88	92	152	28	72	80	16	12
		休学		2	1	1	2	0	1	1	0	0

				男女	別数	県内タ	卜別数		男女県内	内外別数	
	学部	学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
	現代社会	現代社会	415	287	128	328	87	232	96	55	32
	休学		5	5	0	5	0	5	0	0	0
全学年	子ども育成	子ども育成	365	93	272	339	26	85	254	8	18
	休学	-	3	2	1	3	0	2	1	0	0
	合 計	t	780	380	400	667	113	317	350	63	50
	休学		8	7	1	8	0	7	1	0	0

※表内人数には交換留学生を含まない。

※合計には休学者数を含む。

·平成 27 年度 退学者数等 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

《現代社会学部》

	1年(27年度)	2年(26年度)	3年(25年度)	4年(24年度)	計
入学者数	116	110	98	105	429
3月末現在在籍者	114	104	85	98	401
留年者数	0	0	3	1	4
小計	114	104	88	99	405
退学者	2	6	10	6	24
退学率	1. 7%	5. 5%	10. 2%	5. 7%	5. 6%

《子ども育成学部》

	1年(27年度)	2年(26年度)	3年(25年度)	4年(24年度)	計
入学者数	94	101	85	78	358
4月現在 在籍者	94	98	83	76	351
留年者数	0	2	0	0	2
小計	94	100	83	76	353
退学者	0	1	2	2	5
退学率	0. 0%	0. 9%	2. 4%	2. 6%	1. 4%

• 平成 27 年度就職內定状況

平成 28 年 4 月 30 日現在

単位 : 人

学部	性別	学生 数	内休 学者 数	卒業 者数	就職 希望 者	内定者	内定率	未内定者	進学· 留学 希望者	内進学 留学決 定者	進学も 就職も しない	卒業 延期者
	男	67	1	63	55	55	100.0%	0	2	2	6	3
現代社会	女	32	0	32	28	28	100.0%	0	1	1	3	0
	計	99	1	95	83	83	100. 0%	0	3	3	9	3
	男	21	0	21	17	17	100.0%	0	4	4	0	0
子ども育成	女	60	1	59	56	56	100. 0%	0	2	2	1	0
	計	81	1	80	73	73	100. 0%	0	6	6	1	0
	男	88	1	84	72	72	100.0%	0	6	6	6	3
合 計	女	92	1	91	84	84	100. 0%	0	3	3	4	0
	合計	180	2	175	156	156	100. 0%	0	9	9	10	3

• 平成 27 年度図書館基本情報

【貸出冊数】

<東黒牧キャンパス>

			1											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大学生	冊数	49	92	105	109	32	22	100	94	101	107	32	8	851
人子王	人数	41	57	70	61	16	13	74	67	55	60	16	4	534
研究生	冊数							3	6					9
训先王	人数							2	2					4
教員	冊数	3	14	7	5	5	23	5	1	3	2	19	4	91
教 員	人数	2	3	3	2	1	7	2	2	2	1	6	2	33
非常勤講師	冊数		1											1
サ市助再叫	人数		1											1
職員	冊数		1	2					1	2	4	1		11
収貝	人数		1	2					1	1	3	1		9
臨時職員	冊数	7	12	22	10	6	4	4	5	2	3	2	2	79
临时 舰貝	人数	4	9	12	7	4	3	4	5	2	2	2	2	56
聴講生	冊数													0
心神土	人数													0
委託訓練生	冊数													0
安託訓除王	人数													0
学外者	冊数	7	8	9	4	4	4	0	6	3	5	7	0	57
于77日	人数	3	3	3	2	2	2	0	3	1	2	3	0	24
合計	冊数	66	128	145	128	47	53	112	113	111	121	61	14	1,099
口面	人数	50	74	90	72	23	25	82	80	61	68	28	8	661

<呉羽キャンパス> 短大図書館利用者を含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大学生	冊数	139	209	294	205	149	33	234	442	302	172	76	22	2,277
入子王	人数	87	119	171	106	52	16	131	213	150	83	40	10	1,178
短大生	冊数	242	149	338	330	97	92	294	197	234	163	82	52	2,270
及人王	人数	183	87	213	167	33	42	171	97	110	94	37	23	1,257
大学教員	冊数	14	16	26	18	3	0	3	1	1	1	8	4	95
八子叙貝	人数	5	3	8	5	1	0	1	1	1	1	3	1	30
非常勤講師	冊数	8	6	14	12	3	17	18	20	19	21	25	14	177
チ市助研削	人数	2	4	9	7	1	6	10	10	9	8	10	3	79
高校専任教員	冊数					4	4	13	2					23
同权守证权其	人数					1	2	4	1					8
短大教員	冊数	40	392	22	17	35	18	39	45	70	48	36	22	784
拉入 教員	人数	11	11	12	10	14	10	18	18	17	11	13	10	155
職員	冊数	22	11	18	12	20	15	20	32	26	22	19	7	224
収貝	人数	10	5	7	6	11	8	10	14	14	10	10	3	108
	冊数		7		2									9
初介出述	人数		1		1									2
合計	冊数	465	790	712	596	311	179	621	739	652	427	246	121	5,859
口司	人数	298	230	420	302	113	84	345	354	301	207	113	50	2,817

【入館者数及び開館日数】 <東黒牧キャンパス>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	1,468	1,506	3,060	1,603	1,289	219	2,243	2,187	811	3,892	672	106	19,056
開館日数	21	18	21	17	19	19	21	19	18	19	20	21	233
平均入館者数	69.9	83.7	145.7	94.3	67.8	11.5	106.8	115.1	45.1	204.8	33.6	5.0	81.8

Ⅱ. 委員会・部会(評価・課題)

1. 学務委員会

(1) 学務委員会

【目標】

富山国際大学学務委員会規程第2条に規定する審議内容のうち、平成27年度は次の事項を積極的に推進する。

- ① 教育課程及び授業方法の改善、シラバスなどの改善について
- ② FD (ファカルティ・デベロップメント) の実施
- ③ 学生による剽窃行為の防止について
- ④ 奨学金制度の改善について
- ⑤ GPA 数値の活用について
- ⑥ 授業外活動、諸活動活性化について
- ⑦ 広報誌「コスモス通り」やホームページ等による学生活動の広報について
- ⑧ その他、年度内に教学・学生系業務で決定しなければならない案件処理について

【実施内容】

・構成メンバー:

尾畑学務部長、村上学務部次長、佐藤(悦)教授、助重准教授、佐藤(綾)准教授、大藪准教授、大平講師、竹田講師、大丸呉羽キャンパス事務室事務長、岩木学生課長、酒井教務課長、山田主査 (以上12名)

• 会議内容

• 会議內谷		
開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
平成27年4月8日(水)	1. 委員の役割分担及び委員会の年間開催	1. 教務課からの報告について
13:35~17:05	予定について	2. 学生課からの報告について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	2. 学生の退学・休学・復学について	3. 学部学務委員会について
出席:11名 欠席:1名	3. スポーツ文化交流会について	4. その他
	4. その他	
平成27年5月13日(水)	1. 学生の休学・除籍について	1. 教務課からの報告について
16:00~17:05	2. 平成 26 年度アクションプランについ	2. 学生課からの報告について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	て	3. 学部学務委員会について
出席:11名 欠席:0名	3. 平成 28 年度学年暦について	4. その他
	4. スポーツ文化交流会について	
	5. 編入学の単位認定について	
	6. その他	
平成27年6月2日(火)	1. 第1種奨学金・奨励金について	1. 教務課からの報告について
18:10~19:40	2. 夢への架け橋助成事業について	2. 学生課からの報告について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	3. 授業評価アンケート、学生生活アンケ	3. 学部学務委員会について
出席:12名 欠席:0名	ートについて	4. その他
	4. その他	
平成27年7月1日(水)	1. 学生の退学について	1. 教務課からの報告について
15:10~17:20	2. 学納金未納者に対する期末試験措置に	2. 学生課からの報告について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	ついて	3. 学部学務委員会について
出席:12名 欠席:0名	3. 授業評価アンケート、学生生活アンケ	4. その他
	ートについて	
	4. GPA の活用方法について	
	5. ナンバリングについて	
	6. 平成 27 年度アクションプランについ	
	7	
	7. 平成 28 年度学年暦について	
	8. 教員顕彰制度について	
	9. その他	
平成27年8月3日(月)	1. 学則改正について	1. 教務課からの報告について
13:10~14:50	2. 平成 27 年度アクションプランについ	2. 学生課からの報告について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	て	3. 学部学務委員会について
出席:12名 欠席:0名	3. 大学コンソーシアム富山単位互換後期	4. その他
	科目について	
	4. 学費等納入規則について	

	5. その他	
平成 27 年 8 月 31 日 (月) 9:30~11:20 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席:12名 欠席:0名	1.9月卒業について 2. 学生の退学・休学・除籍について 3. 後期オリエンテーションについて 4. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 27 年 9 月 28 日 (月) 9:30~10:50 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席:12名 欠席:0名	 学生の学籍異動について 平成28年度学年暦(案)について 平成28年度講義要綱及び学生便覧編集方針(案)について その他 	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 27 年 11 月 4 日 (水) 13:40~15:30 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席:12 名 欠席:0名	 学生の学籍異動について 国内留学生の単位認定について 2+2編入学生の単位認定について 平成27年度学年暦の一部変更(案)について 平成28年度学年暦(案)について 学生団体結成・解散について 学則変更について その他 	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 27 年 12 月 4 日 (水) 13:20~15:10 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席:12名(代理1名) 欠席:1名	 アクションプランについて 平成28年度研究生、科目等履修生募集要項について その他 	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成28年1月6日 (水) 13:20~15:10 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席:12名 欠席:0名	1. 平成 28 年度学務部予算について 2. "社会を明るくする運動"富山県推進 委員会への加入について 3. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 2 月 4 日 (水) 13:10~15:00 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席:12 名 欠席:0名	 市民聴講生募集要項及び大学コンソーシアム富山単位互換科目について COC+事業の地域志向科目について 欠席届の様式について 学長賞推薦について サークル新設について 南通インターンシップについて 教養教育について その他 	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 3 月 1 日 (水) 13:10~15:00 東黒牧 C・呉羽 C Web 会議 出席:10名 欠席:2名	1. 学生の学籍異動について 2. 平成 27 年度卒業判定及び卒業生代表について 3. 3 年次進級判定について 4. 平成 28 年度前期オリエンテーションについて 5. 市民聴講生用対象科目及び大学コンソーシアム富山単位互換科目について 6. 科目等履修生の受入れについて 7. 平成 27 年度学務部自己点検評価報告書の担当について 8. 「夢への架け橋助成事業」について 9. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
平成 28 年 3 月 30 日 (月) 13:35~15:40 東黒牧 C 本部棟 2 階 大会議室 出席:14名 欠席:0名 (平成 28 年度委員も出席)	 第2種奨学金について 2016年度前期オリエンテーションについて 子ども育成学部履修規程(教職課程)の一部改正について 平成29(2017)年度入学式・卒業式について ナンバリングについて GPAの活用方法について 2015年度学務部アクションプラン報告 	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

内容について 8.2016 年度全学学務委員会開催日程につ いて	
9. その他	

【評価】

本年度は、学務系で当初計画したアクションプランにおいて引き続き検討中のものもあるが、本委員会で決めることができ、概ね形にすることができた。

特に、GPA を「卒業判定・進級判定」に活用する部分については、登録 GPA1.0 未満の学生については退学 勧告などの指導(指導方法は継続協議)をするとの共通認識を図ることができた。

また、次年度に導入するためのWebシラバスシステムや、ラーニングコモンズ化にかかる備品購入の予算計上など、学生支援に関して幅広く協議することができ、次年度の事業活動に向けてスムーズに移行できるようになった。

さらに、COC 事業が本年度から実施することになり、本委員会においても共通認識を持つことができた。

【課題】

今後、アクションプランで列挙しているものなど、本年度決めた内容及び検討中のものを、大成させるためにどのようにして実施・推進していくかが課題である。

特に、COC事業に絡んで教育改善等を進めていくものについては、本委員会でより一層情報共有を行い、従来の教育改善課題と融合させて解決していく。

(2) 教養教育検討部会

【目標】

平成27年度は、アクションプラン「1-(1)-① 教養科目の中に「共存・共生へのアプローチ」科目群及び「時代の潮流へのアプローチ」科目群を設け、科目群の趣旨に沿って、それぞれの科目の内容の充実を行う。」と「1-(1)-

- ② 必修教養科目の中で、「富山国際大学の歴史と基本理念」についての講義時間を確保し、自校教育を開始する。」に基づき次の目標を設定した。
- ① 本学における教養教育の理念と科目の体系化について、平成27年度中に作成する。
- ② 特に現代社会学部においては、カリキュラム改正を行う予定であるので、その際に科目の充実を図る。
- ③ 前期開講中に、自校教育を2回(建学の歴史、教育理念)実施し、本年度実施の反省を踏まえ、次年度に繋げる。

【実施内容】

構成メンバー

佐藤(悦)教授(部会長)、尾畑学務部長、村上学務部次長、大平講師、大丸呉羽キャンパス事務長、 酒井教務課長、山田主査

• 会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
平成27年8月3日(月)	1. 今後の教養教育について	
15:00~15:55	(1)平成27年度アクションプランにつ	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	いて	
出席:7名	(2) 両学部共通の教養科目の設置につ	
	いて	
	(3) 自校教育について	
	2. その他	
平成27年8月31日(月)	1. 今後の教養教育について	
11:25~12:10	(1)教養教育の理念と科目の体系化につ	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	いて	
出席:6名 欠席:1名	(2) 意見交換	
	2. その他	
平成27年10月7日(水)	1.COC+にかかる教養科目について	
11:25~12:10	2. その他	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議		

出席:7名		
平成27年11月4日(水)	1. 全学的教養科目について	
17:25~18:00	(1)各学部からの報告	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	(2)全学的教養教育についての意見	
出席:7名	2. その他	
	(1)今後の自校教育について	
	(2)中間報告について	

【評価】

●目標①について

本学の教養教育の理念を作成し平成28年度の学生便覧に掲載した。

<富山国際大学の教養教育の理念・目標>

- ① 共存・共生の精神と知性を磨き、健全にして個性豊かな人格を形成するため、また国際化、情報化、少子高齢化、環境との共生の時代において、国際社会及び地域社会の発展に貢献できる人間を育成するために必要な「教養」を身につける。
- ② 社会の発展に貢献できる人としての教養を身につけるために、富山国際大学では「共存・共生へのアプローチ科目群」「時代の潮流へのアプローチ科目群」「キャリア・実務科目群」「教養演習科目群」の4つの科目群を設置する。

<現代社会学部の教養教育の理念・目標>

現代社会を担う市民として、社会の諸問題について深く考え主体的に判断し、自己の意見を持つことができるような幅広い知識を身につけた人間を育成する。

- ① 現代社会の諸問題に関して理解を深め、共存・共生の在り方を考える。
- ② 現代社会の潮流である国際化や情報化に対応できる外国語や情報処理などの知識や技能を身につける。
- ③ 就職に必要なコミュニケーション能力の向上ならびに社会で活躍できる能力を身につけキャリアの実現を目指す。
- ④協働作業の手法やアカデミックスキルを身につけ専門課程の基礎を培う。

<子ども育成学部の教養教育の理念・目標>

現代社会を主体的に生きるための幅広い知識と教養及び子ども育成の専門的職業人として必要な、幅広い知識と教養を身につける。

- ① 人間と社会についての理解を深め、共存・共生のあり方を考える。
- ② 現代の巨大潮流について理解し、現代社会を生きる人間のあり方を考える。
- ③ 子ども育成の専門的職業人への目的意識を高め、キャリアの実現をめざす。
- ④ 文化・地域活動、探究活動により、生涯にわたる自己研鑽の基礎を培う。

●目標②について

現代社会学部のカリキュラム改訂を行って、教養科目、学部共通専門科目の充実を図った。

●目標③について

【現代社会学部】

4月23日(木)2限「現代社会概論」中島学長

6月16日(火)1限「教養演習I」 浦山客員教授

【子ども育成学部】

4月15日(水)1限「教養演習:富山国際大学の歴史と基本理念」中島学長

5月20日(水)1限 「教養演習:リテラシーガイダンス3 教養教育とは(1年生)」大藪准教授5月27日(水)1限 「教養演習:リテラシーガイダンス3 教養教育とは(2年生)」大藪准教授

【課題】

<アクションプラン 1-(1)-①に関する今後の課題>

① 現状では、教養教育を構成する授業科目は、学部ごとに編成されていて、物理的にも両学部が同時に受講

する科目の開設は難しい面もあるが、教養教育の在り方を考えるとき、両学部で連携できるような方向で 今後も引き続き議論を進める。

② 全学的教養科目として「教養特別講座」の設置を検討したが、子ども育成学部の改訂に関しては平成28年度難しく、先行的に現代社会学部のカリキュラムのみに追加されることになった。今後、両学部の共通科目として検討をすすめる必要がある。

<アクションプラン 1-(1)-②に関する今後の課題>

① 自校教育にかかる外部講師を次年度に招聘する場合は、大学開学当初の諸々の状況を知っている方に講義を打診する。

(3) FD 推進部会

【目標】

全国の学務系動向が理解できる研修会に参加し、その出張報告会を中心に全学的FD研修会を実施することで、全学的なFD活動への意識や成果を高める。

【実施内容】

・構成メンバー:村上教授(部会長)、尾畑学務部長、、佐藤(悦)教授、大丸呉羽キャンパス事務長、 酒井教務課長、山田主査

• 会議内容

△ HX 1/□		
開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
平成27年8月3日(月)	1.FD 活動状況と今後のFD について	
16:00~16:35	(1)平成26年度全学FD活動実績	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	(2)平成 27 年度全学 FD 活動	
出席:6名 欠席:0名	(3)アドバイザーの依頼	
	2. その他	
	(1)学修時間の実態調査について	
	(2)アセスメントテストについて	
平成27年11月4日(水)	1. 今後の全学的 FD の実施について	
18:00~18:30	2. その他	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議		
出席:7名(0b1) 欠席:0名		

• 研修内容

開催日時・場所・出欠	実施内容
平成28年3月3日(木)	平成 27 (2015) 年度富山国際大学 FD・SD 研修会
10:00~12:00	1. 日本私立大学協会教務部課長相当者研修会報告
東黒牧 C 301 室	【報告 I 】全体報告・分科会報告(山田太郎 教務課主査)
呉羽 C E406 室	【報告Ⅱ】分科会報告(村上満 学務部次長・子ども育成学部教授)
【教員参加率:74.4%】	2. 「Web シラバス・システム」を核とした AP 事業推進について
教員出席:29名 欠席:10名	【講師】富山短期大学 安達哲夫 副学長・坂井一貴 経営情報学科准教授
(現社:15名、子ども14名)	
職員出席:21名 欠席4名	

【評価】

本年度の研修会は、先進的な取組事例報告などがあり、活発な意見交換があった。今後の学務系運営にあたっての教員の情報共有の場となり大変有意義な研修会となった。

【課題】

平成28年度は、参加率(全体教員数の4分の3以上参加)を達成できる内容にする。

(4) 教職課程委員会

【目標】

教育職員免許状取得の所要資格を得させるために必要な本学の教職課程の運営について審議し、教職課程の 履修と実習実施に向けた資格ごとの計画立案・事前事後指導、及び履修科目の単位認定を円滑に実施させるこ とを目標とする。全学学務委員会の下部組織として位置づけられている。

【実施内容】

構成メンバー

水上委員長、辻井教授、仲井教授、福島教授、彼谷教授、村上教授、吉田准教授、石倉准教授、大丸呉羽キャンパス事務長、酒井教務課長

• 会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
平成27年5月18日(月)	1. 委員長選出	
17:39~18:12	2. 履修カルテについて	
吳羽 C2 階会議室	3. 教育実習について	
出席:9名 欠席:1名	(1)小学校教諭分野	
	(2) 幼稚園教諭分野	
平成27年8月7日(金)	1. 学則の改正について	
10:00~11:30	2. その他	
呉羽 C2 階会議室		
出席:9名(0b1) 欠席:2名		
平成27年9月30日(水)	1. 教育実習について	
17:08~17:56	(1)小学校教諭分野報告	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	(2) 幼稚園教諭分野報告	
出席:11名(0b1) 欠席:0名	2. その他	
平成27年12月29日(木)	1. 文部科学省教職課程認定にかかる事	
持ち回り会議	務説明会の報告について	
出席:9名(0b1) 欠席:2名	2. その他	
平成28年1月20日(水)	1. 今後の教職課程について	
14:30~15:00	2. その他	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議		
出席:10名 欠席:0名		

【評価】

教員養成に関する教育課程と教員組織については、地域密着型として実績を挙げており、公立学校教諭有資格者 15 名 (OB 含) が誕生し、確かな手応えを感じている。

小学校教諭一種免許取得者 45 名、幼稚園教諭一種免許取得者 59 名と、概ね取得希望者の希望に添った結果を得ることができた。本年度は、履修カルテの活用及びゼミ担任の指導が奏功してか、科目未履修により免許取得が不可となる学生は皆無であった。

【課題】

免許取得者は、毎年増加していくことが予想されるが、教員としての資質、力量が不足している学生の増加 も否定できない。26年度は、公立小学校教諭7名、公立小学校臨時的任用講師6名の就職となったが、今後 どのようにして教師力を向上させていくかが課題である。

また、免許取得希望者が27年度の47名から28年度は67名と増加し、母校実習のあり方や新たな実習協力校の開拓等、継続的に教育実習の経験を蓄積できる体制づくりも検討を要する。

2. 図書館委員会

【実施計画】

図書館委員会規程に基づき、重要案件を審議する。

【実施内容】

構成メンバー

上坂館長、原教授、仲井教授、後藤准教授、大藪准教授、小西准教授、酒井教務課長、市六主査

• 会議内容

開催日時・場所・出欠	協議・報告事項
------------	---------

平成27年8月6日 (木)	第1回紀要編集専門委員会	
9:00~10:30	1. 平成27年度富山国際大学紀要について	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	第1回図書館委員会	
出席:9名 欠席:0名	1. 平成27年度図書館委員の構成について	
	2. 平成27年度図書館予算および図書費配分について	
	3. 学生向け教育用・新刊図書の選定について(追認)	
	4. 平成27年度図書館年間計画について	
	5. 富山国際大学紀要公開の作業プロセスについて	
	6. アクションプランについて	
	7. その他	
	(1) 新図書館システムついて	
	(2) 学生向け図書の選定方法について	
平成27年10月5日(月)	第2回図書館委員会	
16:00~17:45	1. 富山国際大学紀要公開の作業プロセスについて	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	2. 来年度の洋雑誌について	
出席:7名 欠席:1名	3. その他	
	(1) 継続図書 (洋書) ついて	
	(2) 新規雑誌の購入について	
平成 27 年 12 月 10 日 (金)	第3回図書館委員会	
15:00~16:10	1. 来年度の予算について	
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	2. 富山国際大学紀要の公開可否についての問い合わせに対する回答状況	
出席:5名 欠席:2名	ついて(報告)	
	3. その他	
	(1) 継続図書(洋書)について	
	(2) 学生向き図書の購入について	
	(3) その他	
平成28年3月4日(金)	第4回図書館委員会	
16:00~16:56		
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	2. 富山国際大学紀要の執筆・投稿要領について	
出席:9名 欠席:0名	3. 富山国際大学図書館利用規程について	
	4. 平成28年度図書館予算について	

【評価】

昨年度の課題に基づき、平成27年度は委員会を計4回開催してきめ細かな図書館運営の検討を行った。具体的な実施内容としては、26年度に検討した紀要公開プロセスの実行を行い、細かな事務作業上の後処理以外は予定どおり終結した。図書館の利用促進及び選定図書の選定方法等も26年度に引き続き検討し、東黒牧図書館内に新たにラーニングコモンズおよびAVコーナーの新設を討議した。図書館の収容スペース狭隘化についてはできる部分からの除籍を実施した。

9月に実施した図書館システムのリプレースに関しては大きな問題はなく、事務上の点検作業以外は、スムーズに移行が完了しており委員会として検討すべきトピックスは発生しなかった。

(課題)

図書館の利用促進については一朝一夕で結果がでるものではなく、今後も引き続き改善策を検討する必要がある。また図書館(書庫および事務室)の収容スペース狭隘化ついても対策が必要であり、具体策の実施が必要である。

ラーニングコモンズおよびAV コーナーの新設については外部予算確保が条件となっているため、予算獲得に向けて十分な検討が課題である。

3. 情報センター運営委員会

【実施計画】

情報センター規程に基づき、年度当初、および予算策定時期の2回、情報センター運営委員会を実施し、センター運営について協議する。

【実施内容】

構成メンバー

上坂センター長、尾畑教授、吉田准教授、斎藤准教授、高尾准教授、堀江准教授、谷口講師(途中退職)、 酒井教務課長、水野教務課主査、宮森情報センター員

• 会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
平成27年6月2日(火)	1. 平成 27 年度運営事業
16:30~17:50	2. 平成 27 年度特別事業ネットワーク機器入替え
東黒牧キャンパス(大会議室)	3. 平成 27 年度特別事業プリントサーバシステムの導入
呉羽キャンパス(会議室)	4. 平成 27 年度施策
出席:8名 欠席:2名	5. 平成 28 年度特別事業案: PC 室再整備計画
	6. 平成 28 年度特別事業案:無線 LAN 設備拡充計画
	7. 卒業生 Office365 メールアカウント削除
	8. ネットワーク増速
平成27年7月28日(火)	1. 平成 27 年度事業 ネットワーク基幹機器等入替え作業実施
16:30~17:40	2. 平成 27 年度 サーバメンテナンス実施
東黒牧キャンパス(大会議室)	3. 大学会館 無線 LAN 機器故障への対応
呉羽キャンパス(会議室)	4. 平成 28 年度 無線 LAN 設備拡充事業 対象機器・施設の検討
出席:7名 欠席:2名	5. ストリーミングサーバの設置と使用体制の構築
	6. セキュリティポリシーの明文化
	7. ビデオ会議システムの最適化
	8. ORION ファイルサーバへのアクセススピード
平成27年10月29日(木)	1. 平成 27 年度事業執行状況および報告
16:30~18:00	2. 平成 28 年度情報センター運営事業 予算申請
東黒牧キャンパス(430室)	3. 平成 28 年度新規運営事業プリントサーバシステム維持費
呉羽キャンパス(会議室)	4. 平成 28 年度特別事業:コンピュータ室の再整備
出席:7名 欠席:2名	5. 平成 28 年度特別事業:無線 LAN 設備拡充事業
	6.ファイルサーバ orion 空き容量不足問題
	7. その他検討事項
平成28年3月14日(月)	1. 平成 28 年度予算の報告
16:20~17:50	2. 平成 28 年度特別事業: コンピュータ室の再整備事業
東黒牧キャンパス (430 室)	3. 平成 28 年度特別事業:無線 LAN 設備拡充事業
呉羽キャンパス(会議室)	4. 平成 28 年度特別事業:ファイルサーバ領域増大化
出席:7名 欠席:2名	5. 子ども育成学部生のサポート体制
	6. 子ども育成学部生 Office365 アカウントの運用方針

(評価)

27年度の自己点検に基づき情報センター運営委員会を年4回実施し、センター運営について一般教員と協議する頻度を充実した。

サーバシステム、ネットワーク環境、プリンタ等の環境変化について討議し、従来の運用内容については情報センター担当業務を着実に果たし、問題なく運用されている事が確認された。

一方、呉羽キャンパス情報ネットワーク環境についてエンドユーザへのサポート強化が運営委員より強く要望され、28年度からは特に学部生へのサポート体制を強化することが決定した。

【課題】

呉羽キャンパスのサポート体制強化に関して、具体的な実施内容を決定して実行することが課題である。とりわけ子ども育成学部の「情報処理演習」授業担当教員が非常勤講師となったことに対する、学生へのサポート低下が懸念されるので、必携のノートパソコン使用に支障が発生しない事を目標としてサポート体制が望まれる。

4. キャリア支援センター運営会議

【実施計画】

キャリア支援センターに関する諸問題について検討することを目的とし、原則として毎月1回開催する。 財験内容

・構成メンバー:大西委員(現代社会学部)、後藤委員(現代社会学部)、斉藤委員(現代社会学部)、鶴山委員 (子ども育成学部)、室林委員(子ども育成学部)、村瀬センター長(現代社会学部)、彼谷センター次長(子ども育成学部)、岩木学生課課長

• 会議内容		
開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
平成27年4月23日(木)	① 平成27年度「企業・事業所・大学	① 就職内定状況について(平成26
16:30~17:30	講演会」について	年度)
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	② 現代社会学部インターンシップにつ	② その他
出席:8名 欠席:0名	いて(富山信用金庫、海外インター	・現代社会学部キャリア支援委員
	ンシップ)	議事要録について
		・子ども育成学部からの報告
平成27年5月28日(木)	なし	① 役員会議資料(5/27)について
16:30~16:50		② 平成27年度インターンシップ
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議		について (海外・国内)
出席:8名 欠席:0名		③ 就職内定状況について
		④ その他
		・現代社会学部キャリア支援委員
		議事要録について
		・子ども育成学部からの報告
平成27年7月2日(木)	①「2016 年度採用のための大学案内」	① 就職内定状況について
16:30~17:40	の作成要領について	② 職場訪問研修について(大学コ
東黒牧C・呉羽C Web 会議	② 富山県インターンシップ推進協議会	ンソーシアム富山)
出席:8名 欠席:0名	の企業別担当教員について	③ 教員採用試験等の日程一覧につ
		いて
		④ 福祉職場説明会について
		⑤ 平成26年度自主研修実績につ
		いて
		⑥ その他
		・現代社会学部キャリア支援委員
		議事要録について
		・子ども育成学部からの報告
平成27年7月27日(月)	なし	① 就職内定状況について
16:30~16:50		② 保護者相談会について(現代社
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議		会学部)
出席:7名 欠席:1名		③ 職場訪問研修について(大学コ
		ンソーシアム富山主催)
		④ 企業・事業所・大学講演会につ
		いて
		⑤ その他
		・現代社会学部キャリア支援委員
		議事要録について
		・子ども育成学部キャリア支援委

		員会議事要録について
平成27年9月7日(月)	①「2016年度採用のための大学案内」	① 後期キャリア支援センターオリ
11:00~12:15	の進捗状況	エンテーションについて
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	② 富山県インターンシップ推進協議会	② 就職内定状況について
出席:8名 欠席:0名	「特別講演講師について」	③ インターンシップ実施報告書役
	講師候補者	割分担(現代社会学部)
	9月9日(水)までに報告	④ その他
		・子ども育成学部キャリア支援委
		員会議事要録について
平成 27 年 10 月 26 日(月)	①「平成27年度 企業・事業所・大学	① 富山県ひとづくり財団高等教育
16:30~17:45	講演会」について	振興財団要望調書について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	・役割分担 ・講演会出席者名簿	② 就職内定状況について
出席:6名 欠席:2名	• 講演会、情報講演会座席表	③ その他
	・アンケート 等	・現代社会学部キャリア支援委員
	②「2016年度採用のための大学案内」	会議事要録について
	の進捗状況	・子ども育成学部キャリア支援委
	③「平成27年度学内合同企業説明会」	員会議事要録について
	について	
	④ 現代社会学部インターンシップ評価	
	表について	
平成 27 年 11 月 30 日(月)	① 平成28年度予算(案)について	① インターンシップ就業体験発表
16:30~17:50	② 平成28年度「キャリア教育」につ	会・特別講演会について
東黒牧C・呉羽C Web 会議	いて	② 就職内定状況について
出席:6名 欠席:2名	③「平成27年度学内合同企業説明会」	③ その他
	について	・現代社会学部キャリア支援委員
	④「企業・事業所・大学講演会」アン	会議事要録について
	ケート集計結果について	・子ども育成学部キャリア支援委
		員会議事要録について
平成28年1月25日(月)	① COC+関連について(保護者説明	① 平成28年度予算について
16:40~17:20	会、アンケート)	② 学生便覧について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議	②「平成27年度学内合同企業説明会」	③ 新社会人としての心得講話につ
出席:6名 欠席:2名	について	V/T
	③ 海外インターンシップについて(南	④ 就職内定状況について
	通大学・東レ)	⑤ その他
		・現代社会学部キャリア支援委員
T. Dao Francisco		会議事要録について
平成28年2月18日(木)	①「平成27年度学内合同企業説明会」	① 保護者説明会について(COC
10:00~11:30	について	+)
東黒牧C・呉羽C Web 会議	②「平成28年度キャリア教育」につい	②教育分野の就職に関する懇談会
出席:7名 欠席:1名		について
	③「平成28年度企業・事業所・大学講	③ 就職内定状況について
	演会」講師について	④ その他 ロッカー・ルフナダチョ
		・現代社会学部キャリア支援委員
		会議事要録について
		・子ども育成学部キャリア支援委
東井の左の日の日 (1)	① T+00 F#4 . 11 > H# 1 11	員会議事要録について
平成28年3月23日(水)	① 平成28年度キャリア関係オリエン	① 平成 27 年度学内合同企業説明
16:00~17:10	テーションについて	会アンケート結果について
東黒牧 C・呉羽 C Web 会議		② 平成28年度「キャリア教育」

出席:7名 欠席:1名	年間予定について
	③ 保護者の就職意識調査アンケー
	ト結果について (COC+)
	④ 平成28年度予算について
	⑤ 就職内定状況について
	⑥ その他
	・現代社会学部キャリア支援委員
	会議事要録について
	・子ども育成学部キャリア支援委
	員会議事要録について

【評価】

昨年度に引き続き WEB を使い会議が行なわれたが、順調に審議が行なわれた。月1回のペースも適当であった。また、会議時間の短縮化を図り、遅くても1時間以内で終了した。

【課題】

特になし。

5-1. 国際交流センター運営会議

【目標】

本学の国際交流に関する事項について、教職員による協議を行う。

【実施内容】

構成メンバー

才田国際交流センター長、湯国際交流センター次長、高橋哲郎教員、福島教員、斎藤教員、B. パプリー 事務 山崎・岩木・島口

• 会議内容

・会議内容		
開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
第1回 2015年4月30日 16:20~18:50 東黒牧 C・4号館402号室 出席: 9名 欠席:0名	・英語自宅学習システムの運用及び外国語運用能力を高めるための事業について ・授業料減免規程に基づく審査について ・チューターの選任について ・平成27年度の奨学金受給者の推薦について	・卒業・在校生留学生の動向について ・平成27年度留学プログラム参加希望者について ・学研災付帯海外旅行保険の加入について ・国際フォーラム開催日の決定について
第2回2015年5月21日 16:20~18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席:8名 欠席:1名	・英語自宅学習システムの運用及び外 国語運用能力を高めるための事業に ついて ・サマースクールの開催について ・国際交流フォーラムについて ・奨学金受給者の決定について	・外国語能力向上のためのSD研修会について・留学生のためのSD研修会
第3回2015年6月25日 16:20~19:00 東黒牧C・4号館402号室 出席:9名 欠席:0名	・2015 年後期交換留学生について ・中国南通大学と富山国際大学の受け 入れ及び派遣に関する協定書につい て	・サマースクールについて・留学生のための就職説明会の開催について・外国語能力向上のためのSD研修会について

第4回2015年7月31日 メール審議	・インターナショナルプログラムズ(長期)について	・異文化研修について・サマースクールについての報告・平成27年度第1回TOEICIPの実施について
第5回2015年9月25日 15:00~17:10 東黒牧C・4号館402号室 出席:7名 欠席:2名	・平成 28 年度海外留学支援制度(協定派遣)及び平成 28 年度海外留学支援制度(協定受入)の募集について・オリエンテーションについて・国際交流フォーラムについて・TOEIC の試験について	・富山市国際交流フェステバルについて・サマースクールの報告について長野県内・タイの日本語学校訪問報告
第6回2015年10月25日 16:20~18:00 東黒牧C・4号館402号室 出席:7名 欠席:2名	・国際交流フォーラムについて・TOEIC の試験結果について(9 月 28 日実施)・英語圏留学者増加策として協定校拡大事業について	・富山市国際交流フェステバルについて・長野丸の内ビジネス専門学校との協定について
第7回2015年11月30日 9:00~12:10 東黒牧C・4号館402号室 出席:8名 欠席:1名	・留学希望者について ・英語圏留学者増加策として協定校拡 大事業について	・平成28年度国際交流センター関連予算について ・春休み中の異文化・海外実習・海外研修について ・国際交流センター年報について
第8回2015年12月24日 16:20~17:30 東黒牧C・4号館402号室 出席:8名 欠席:1名	・留学希望者について ・平成28年度交換留学生の受け入れについて ・留学生の家族来日希望の取り扱いについて	
第9回2016年2月8日 10:00~11:30 東黒牧 C・4号館402号室 出席:8名 欠席:1名	・鞍山師範学院との協定について ・留学や海外研修前の保護者周知について ・TOEIC 試験日程変更について	・平成28年度国際交流センターの事業について
第10回2016年3月3日 メール審議	・協議事項 韓国大邱大学との協定改定(全学協 定への移行)	
第 11 回 2016 年 3 月 28 日 10:00~12:00 東黒牧 C・4 号館 402 号室 出席: 7名 欠席:2名	・鞍山師範学院との学術交流及びダブ ルディグリー協定について	・中国出張報告・韓国大邱大学における海外拠点事務所設置・PSU 訪問報告・国際交流センター行事について28 年度事業執行予定について

【評価】

留学生の1年生入学減少が続いており、協定校との協力を得て、2+2編入学生の増加を図るため協定校の増加を図った。TOEIC IP を今年度から取り入れ、英語自宅学習システム受講者を中心に受験者数の増加を図った。次年度に繋げるよう受講者の増加を図る工夫が必要である。また、本学の学生が英語に親しみつつ楽しく学ぶ場として、東黒牧キャンパス厚生棟に English Café がオープンさせた。

【課題】

TOEIC IP(本学学生対象の合同受験)を年2回実施し、一人でも多く受けさせ英語力を付けさせる。 また、海外留学についても、多く参加できるように努力をする。

【評価と今後の課題】

27年度は11回の運営会議を開催した。毎月の開催を目指したい。

5-2. 国際化推進委員会会議

【実施計画】

富山国際大学の国際化を推進することを目的とし、富山国際大学国際化推進委員会を原則2ヶ月に一度開催する。

【実施内容】

・構成メンバー:中島学長、高橋現代社会学部長、辻井子ども育成学部長、長尾学長室長、尾畑学務部長、 才田国際交流センター長、湯教授、福島教授、村上教授、中島事務部長、岩木課長

• 会議内容

開催日時・場所・出欠 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:0名 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:0名 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:0名 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 16:30~ 東黒牧子・シーパス 大会議室 出席:12名 欠席:12日 16:30~ 東黒牧子・シーパス 大会 本会 大会 本会 大会 本会 全 本会 大会 本会 本会 本会 本会 大会 本会 全 本会 大会 本会	• 会議内容	
16:30~ 東黒牧キャンバス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (2) アクションブランにおける国際化部分について (3) 平成 27 年 5 月 11 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンバス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (2) 留学生確保について (3) 外国語の向上について (4) 日本人学生の海外留学・インターンシップについて (5) その他 (2) アクションブランについて (5) その他 (2) 平成 27 年 5 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (3) 南通大学と富山国際大学の複数学位取得に関する協定書(案)について (4) 2015 年度後期交換留学生について (5) その他 (2) 国際交流フォーラムについて (5) その他 (2) 国際交流フォーラムについて (6) タイにおける日本留学事情調査について (7) 2 国際交流フォーラムについて (8) その他 (9) 年度27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 (7) 日間にのへ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 (7) 国際フォーラムについて (2) 富山市国際交流フェスティバル 2015 について (3) その他 (4) 日にの〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 (7) 国際フォーラムについて (2) 富山市国際交流フェスティバル 2015 について (3) その他 (4) 日にの〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:0名 (4) 日間にの〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (1) 国際フォーラムについて (2) 富山市国際交流フェスティバル 2015 について (3) 平成 28 年 3 月 8 日 (大) (3) 同事攻について (2) 富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 電山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 電山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 電山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 電山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 電山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 第山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について (2) 第山東 25 年 25	開催日時・場所・出欠	議題事項
東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (3) 平成27年5月11日(月) 16:30〜 東黒牧キャンパス 大会議室 2 留学生確保について (4) 日本人学生の海外留学・インターンシップについて (5) その他 (5) 子の他 (7) 子の中語について (7) 子の中語に対していて (7) 子の中語に対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	平成27年3月24日(火)	
出席:11名 欠席:1名	16:30~	② アクションプランにおける国際化部分について
### (4) その他 平成 27 年 5 月 11 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 2) 留学生確保について 3) 外国語の向上について 4) 日本人学生の海外留学・インターンシップについて 5) その他 平成 27 年 7 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 2) アクションブランについて 3) 南通大学と富山国際大学の複数学位取得に関する協定書(家)について 4) 2015 年度後期交換留学生について 5) その他 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 11 名 欠席: 1名 2015 年度後期交換留学生について 3) 平成 27 年度私立大学改革総合支援事業タイプ 4 の申請について 2) 2015 年度後期交換留学生について 3) をの他 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 3 名 20 をの他 20 をのから に対する協定について 20 をのから に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する	東黒牧キャンパス 大会議室	③ 平成26年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請内容を踏
平成 27 年 5 月 11 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 27 年 7 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 27 年 7 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 11 名 欠席: 1名 平成 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 9名 欠席: 3名 平成 28 年 1 月 12 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 3名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 「15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 「15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 「15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 「副博攻について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について	出席:11名 欠席:1名	まえた平成27年度申請について
16:30〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 ② 留学生確保について ③ 外国語の向上について ④ 日本人学生の海外留学・インターンシップについて ⑤ その他 平成27年7月13日(月) 16:30〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 ② アクションブランについて ④ 2015年度後期交換留学生について ⑤ その他 平成27年9月15日(火) 10:00〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 ② 中成27年度私立大学改革総合支援事業タイブ4の申請について ⑥ その他 ② 2015年度後期交換留学生について ⑥ その他 ② 国際交流フォーラムについて ② 国際交流フォーラムについて ② 中成27年度和立大学改革総合支援事業タイブ4の申請について ② 中成27年度和立大学改革総合支援事業タイブ4の申請について ② 中成27年度和立大学改革総合支援事業タイブ4の申請について ② 中成27年度和立大学改革総合支援事業タイブ4の申請について ② 中成27年11月9日(月) 16:00〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 「15:00〜 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 「② 富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ② 富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について		④ その他
世界大学・ンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (3 外国語の向上について (4 日本人学生の海外留学・インターンシップについて (5 その他 (5 その他) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (1 平成 27 年度私立大学改革総合支援事業タイプ 4 の申請について (2 アクションブランについて (3 南通大学と富山国際大学の複数学位取得に関する協定書(案)について (5 その他) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (2 回際交流フォーラムについて (5 その他) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 (3 その他) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:3名 (4 タイにおける日本留学事情調査について (5 をの他) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (1 国際フォーラムについて (2 宮山市国際交流フェスティバル 2015 について (3 その他) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 (1 国)・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	平成27年5月11日(月)	① 平成27年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請加算につ
出席:12名 欠席:0名 3 外国語の向上について ④ 日本人学生の海外留学・インターンシップについて ⑤ その他 平成 27 年 7 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成 27 年 9 月 15 日(火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 ② 国際交流フォーラムについて ③ 国際交流フォーラムについて ③ マル 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成 28 年 1 月 12 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 「副専攻について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ③ その他 「副専攻について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について	16:30~	いて
(4) 日本人学生の海外留学・インターンシップについて 5) その他 平成 27 年 7 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12名 欠席: 0名 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 11名 欠席: 1名 (5) その他 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 11名 欠席: 1名 (6) その他 平成 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 9 名 欠席: 3名 平成 28 年 1 月 12 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室	東黒牧キャンパス 大会議室	② 留学生確保について
(5) その他 平成 27 年 7 月 13 日 (月) 16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 11 名 欠席: 1名 (4) 2015 年度後期交換留学生について (5) その他 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 11 名 欠席: 1名 (4) タイにおける日本留学事情調査について (5) その他 平成 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 9名 欠席: 3名 平成 28 年 1 月 12 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席: 12 名 欠席: 0名 「副専攻について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について	出席:12名 欠席:0名	③ 外国語の向上について
平成 27 年 7 月 13 日 (月)		④ 日本人学生の海外留学・インターンシップについて
16:30~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成27年9月15日(火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 平成27年9月15日(火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 平成27年11月9日(月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 「副専攻について ②富山国際交流フェスティバル2015について ②富山市国際交流フェスティバル2015について ②富山市国際交流フェスティバル2015について ②富山市国際交流フェスティバル2015について ②富山市国際交流フェスティバル2015について ②富山市国際交流フェスティバル2015について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について		⑤ その他
東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成27年9月15日(火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 平成27年11月9日(月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名	平成27年7月13日(月)	① 平成27年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請について
出席:12名 欠席:0名 (4) 2015 年度後期交換留学生について (5) その他 平成27年9月15日(火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (6) その他 平成27年11月9日(月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:大会議室	16:30~	② アクションプランについて
(4) 2015 年度後期交換留学生について (5) その他 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (4) タイにおける日本留学事情調査について (5) その他 平成 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成 28 年 1 月 12 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 東黒牧キャンパス 大会議室 コーランについて (1) 国際フォーラムについて (2) 富山市国際交流フェスティバル 2015 について (3) その他 「10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 コート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東黒牧キャンパス 大会議室	③ 南通大学と富山国際大学の複数学位取得に関する協定書(案)につ
(5) その他 平成27年9月15日(火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (2) 国際交流フォーラムについて (3) 平成27年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請について (4) タイにおける日本留学事情調査について (5) その他 平成27年11月9日(月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:7年11月9日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 「副専攻について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大田大学校との学術交流に関する協定について	出席:12名 欠席:0名	いて
平成 27 年 9 月 15 日 (火) 10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 中成 27 年 11 月 9 日 (月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成 28 年 1 月 12 日 (火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について		④ 2015 年度後期交換留学生について
10:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 平成27年11月9日(月) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について		⑤ その他
東黒牧キャンパス 大会議室 出席:11名 欠席:1名 (4) タイにおける日本留学事情調査について (5) その他 (7) 国際フォーラムについて (6) をの他 (7) 国際フォーラムについて (7) 国際フォーラムについて (7) 国本の (7) をの他 (7) を示する (7) を示	平成27年9月15日(火)	① 議長からの提案について
田席:11名 欠席:1名	10:00~	② 国際交流フォーラムについて
平成27年11月9日(月)① 国際フォーラムについて16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名② 富山市国際交流フェスティバル2015 について ③ その他平成28年1月12日(火) 	東黒牧キャンパス 大会議室	③ 平成27年度私立大学改革総合支援事業タイプ4の申請について
平成 27 年 11 月 9 日 (月)	出席:11名 欠席:1名	④ タイにおける日本留学事情調査について
16:00~ ② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 ①副専攻について 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について 東黒牧キャンパス 大会議室 東黒牧キャンパス 大会議室 ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について		⑤ その他
東黒牧キャンパス 大会議室 出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 空間 (型)	平成27年11月9日(月)	① 国際フォーラムについて
出席:9名 欠席:3名 平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について	16:00~	② 富山市国際交流フェスティバル 2015 について
平成28年1月12日(火) 16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 ②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について	東黒牧キャンパス 大会議室	③ その他
16:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室 東黒牧キャンパス 大会議室	出席:9名 欠席:3名	
東黒牧キャンパス 大会議室 出席:12名 欠席:0名 平成28年3月8日(火) 15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室	平成 28 年 1 月 12 日(火)	①副専攻について
出席:12名 欠席:0名平成28年3月8日(火)①副専攻について15:00~②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について東黒牧キャンパス 大会議室	16:00~	
平成28年3月8日(火)	東黒牧キャンパス 大会議室	
15:00~ 東黒牧キャンパス 大会議室	出席:12名 欠席:0名	
東黒牧キャンパス 大会議室	平成28年3月8日(火)	①副専攻について
	15:00~	②富山国際大学と大邱大学校との学術交流に関する協定について
出席:11名 欠席:1名	東黒牧キャンパス 大会議室	
	出席:11名 欠席:1名	

【評価】

国際化を推進することを目的としいるが、両学部の教育方針が異なり取りまとめに時間がかかる傾向があるので、会議は2ヶ月1度で取りまとめの時間が出来て良い。

【課題】特になし。